

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】
実施内容報告書

受託団体名 社会福祉法人さぽうとにじゅういち

1. 事業名称

外国人住民・日本人住民 共育ち日本語教室展開事業～「安心・安全を基盤に、安定と成長に向かって！」を合言葉に～

2. 事業の目的

本事業の目的は、日本に定住する覚悟を決めた外国人住民(とくに難民)が「安心」「安全」を確保し、さらに個々の「安定」「成長」を目ざして日々過ごせるようになること、より多くの日本人住民・先輩外国人住民が、彼らの良き「伴走者」として成長すること、結果として、関わる全ての者たちが多文化共生社会日本の一員として共に手を携え前進していけることである。

平成27年度は、運営委員に先輩外国人住民(難民)を加え、各取り組みでも当事者の視点をより多く反映させられる工夫をこらす。先輩外国人住民が、本事業を通じて、難民コミュニティのキーパーソンとして成長してくれることも目的の一つである。

3. 事業内容の概要

・【1 日本語教育】

「難民のための体験型初級日本語講座」「生活力向上のためのワークショップ」の2つのタイプの日本語教育に取り組んだ。

1-1 「難民のための体験型初級日本語講座」の実施

年度前半に1講座(集中型)、年度後半に1講座、難民を主な対象とした初級(導入期)日本語講座を実施した。日本語教育のプロの指導者、アシスタント、ボランティアが協力し、体験を重視した参加型の学習を進めた。5年目を迎え、ようやくその形が整えられつつある。

1-2 「生活力向上のためのワークショップ」の実施

平成25年度、平成26年度での成果をふまえ、平成27年度は「防災」「健康」「生活設計」をテーマに実施した。

【2 人材育成】

「地域日本語教室ボランティア・パワーアップ研修」として、「理解を深める講座」と「スキルアップ講座」の2つのタイプの研修を実施した。

「理解を深める講座」は、「一市民として学び、考える「難民」のこと～当事者の声を紡ぎながら～」として全1回実施した。専門家による講義と当事者の語りを織り交ぜて展開した。

「スキルアップ講座」は、「読むことの指導」について、現場での日本語支援を想定しつつ、全8回にわたって実施した。

【3 教材作成】

日本語力も生活力も向上させることを目標として「生活力向上応援BOOK」、「体験型初級日本語講座実例集」、「小さいけれど大切な日本の習慣」を作成した。

「生活力向上応援BOOK」は、1-2「ワークショップ」の内容を教材化すべく、作成したものである。生活関連の講座等で利用可能な振り仮名つきのパワーポイント資料と、パワーポイントのスライドにやさしい日本語での解説文をつけた冊子が用意されている。初中級の読解教材としても利用可能である。

「体験型初級日本語講座実例集」は1-1「日本語講座」の内容をもとに作成している。「小さいけれど大切な日本の習慣」は、1-1「日本語講座」での学習者の声にこたえる形で作成を開始した、初中級の読解教材である。

3つの教材はどれもシリーズ化を考えており、継続して作成の予定である。

4. 事業の実施体制について

実施体制は以下の通りである。

運営委員会：高橋敬子(運営委員長=全体総括・予算執行者)⇒⇒⇒⇒⇒関連団体(主に難民支援団体)

↓
矢崎理恵(全体コーディネーター)→事務局 長島みどり(主に広報、事務担当)

↓
運営委員は事業全体についての検討を行うとともに、以下の小委員会に分かれて、指導者、講師、教材作成者との連携を密にはかる

「日本語教室小委員会」

(矢崎理恵主担当・蓼沼恵子(指導者)・ディラン恵子(指導者)・高梨玲依(アシスタント)=計4名)⇒⇒⇒⇒⇒他の難民支援団体等

「ワークショップ小委員会」

(矢崎理恵・LIA CING LAM MANG・長島みどり=計3名)⇒⇒⇒⇒⇒品川区等公的団体、FPの会等専門家グループ

「人材育成小委員会」

(奥原淳子主担当・長崎清美・岩田一成・矢崎理恵=計4名)⇒⇒⇒⇒⇒他の日本語教室、日本語教育関連の団体等

「教材作成小委員会」

(矢崎理恵主担当・羽毛田恵美・高梨玲依・長島みどり=計4名)⇒⇒⇒⇒⇒FPの会、日本語教育専門家

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	高橋 敬子	(社福)さほうと21・東京都
2	岩田 一成	聖心女子大学日本語日本文学科
3	大森 邦子	(社福)日本国際社会事業団
4	奥原 淳子	早稲田大学日本語教育研究センター他
5	蓼沼 恵子	東京工科大学附属日本語学校
6	長崎 清美	駒澤大学他
7	羽毛田 恵美	(社福)さほうと21
8	矢崎 理恵	(一財)日本国際協力センター他・(福)さほうと21
9	LIA CING LAM MANG	(公財)アジア福祉教育財団・難民事業本部
10	長島 みどり	(社福)さほうと21

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年6月6日(土) 17:00-19:30	2時間 30分	認定NPO法人難民を助ける会会議スペース	高橋敬子・岩田一成・大森邦子・奥原淳子・蓼沼恵子・長崎清美・羽毛田恵美・矢崎理恵・LIA CING LAM MANG・長島みどり	1. 運営委員紹介 2. 各取り組みの方針、実施時期、内容等検討 ⇒取り組みごとの担当者を決定し、小委員会を中心に進めていくことを決定 3. 作成教材の方向性を検討 ⇒日本語教室やワークショップでの実践をもとに、初級教材、初中級教材を作成することに決定
2	平成28年1月11日(土) 17:00-19:30	2時間 30分	認定NPO法人難民を助ける会会議スペース	高橋敬子・岩田一成・大森邦子・奥原淳子・蓼沼恵子・長崎清美・矢崎理恵・LIA CING LAM MANG・長島みどり	1. 日本語教室前期終了の報告と振り返り、継続中の教室についての検討 2. スキルアップ講座の振り返り 3. 理解を深める講座の実施時期、内容の検討 ⇒当会の特色も生かして、「難民」をテーマとした講座とすることを決定。講師候補を決定 4. 作成教材の内容検討
3	平成28年3月18日(金) 17:00-19:00	2時間	認定NPO法人難民を助ける会会議スペース	高橋敬子・奥原淳子・蓼沼恵子(途中退席)・矢崎理恵・LIA CING LAM MANG・長島みどり	1. 理解を深める講座の振り返り 2. 作成教材の成果物確認、改善点の検討 3. 事業全体の振り返り ⇒事務局の負担軽減の方策を検討

6. 日本語教育の実施

【日本語教室】

(1) 活動名称

体験を通して学ぶ初級日本語講座(春夏・集中講座)

(2) 目的・目標

・生活者としての外国人である受講者(難民)が日常生活において最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行える(または、行えるという意識がもてる)ようになること。あわせて、日本社会の一員としての権利や義務を理解した上で、各人が日本社会の一員としての意識を高め、日々の生活の豊かさを求める姿勢がもてるようになること
・ボランティアで参加する日本人住民が、教室での活動を通じて、外国人住民への理解を深め、コミュニケーション力を向上させ、教室での学びを日々の生活に生かして、外国人住民と共に暮らす日常を楽しめるようになること

(3) 対象者

東京近郊に在住する難民で、日本語でのコミュニケーションがほとんどできない人

(4) 使用した教材・リソース

・『はじめの500語』(当会作成教材)
・『あいいうえおのれんしゅう』『アイウエオのれんしゅう』(当会作成教材)
・『にほんご45時間』『かんじ だいすき』
・『みんなの日本語Ⅰ』『足し算引き算日本語クリアー』
・講師作成教材

(5) 参加者の総数 11 人

そのうちの日本語学習者数 11人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。 ミャンマー5人・コンゴ5人・ギニア1人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

(6) 開催時間数(回数) 157.5 時間 (全63回)

(7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月12日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人 Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●オリエンテーション ●「自己紹介をしましょう」	【語彙】色、好き(サッカー、バスケットボール、音楽、ダンス、料理)助数詞(何人、何本) 【語彙/動詞】 【目標項目】日にち、曜日、天気と言える。少し詳しく自己紹介することができる。「どうも ありがとう」「どう いたしまして」と言える。 【文字】2グループに分かれて実施 A(子ども):カタカナ、ア～コサ～ト B(成人女性):カタカナ、ア～コザ～ゾ	蓼沼憲子	鈴木信明 ※ボランティア1人
2	平成27年5月13日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人 Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●「地震について勉強しよう」 ●「モノの所在を伝えよう」	【語彙】位置詞 上、下、中、右、左、前、後ろ、となり、ポケット、カバン 【語彙/動詞】起きる・食べる・寝る 【目標項目】地震についてのVTRを見て、理解する。相手に応じた自己紹介をする。モノや人のいるいない・あるなしが伝えられる。 【文字】A: カタカナ、ナ～ホ B:カタカナ、昨日までの復習	蓼沼憲子	植木千津

3	平成27年5月14日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人とかわる 他者との関係を円滑にする ●「スーパーに行ってみよう」	【語彙】どこ、郵便局、学校、教室、スーパー、売り場(魚、野菜、靴、本)、階、何階、100円ショップ、地下1階 あいさつのことば:『いただきます』『ごちそうさま』『いってらっしゃい』『いってきます』『ただいま』『おかえりなさい』 【語彙／動詞】 【目標項目】行きたい場所への行き方を質問することができる。質問の前と後に『すみません』の声かけと『ありがとうごさいます』のお礼が言える。近所の人に『行ってきます』『ただいま』などのあいさつができる。食事、おやつの前後のあいさつができる。 【文字】A:カタカナ、マ～ヲ B:カタカナ、タ～ト	ディラン恵子	鈴木信明 Y. C.
4	平成27年5月16日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと216階会議室	10人	コンゴ5人 ミャンマー5人	VII 人とかわる 他者との関係を円滑にする ●「自己紹介をしましょう」 ●平日クラスのレビュー	【語彙】『みんなの日本語』1課の語彙 【語彙／動詞】起きる・食べる・寝る・見る・覚える・忘れる 【目標項目】自己紹介ができる。クラスメートを知って仲良くなる。 【文字】あいさつのことばのディクテーション ※土曜日は、平日のクラスとは別立てのクラスとして運営する。学習内容としては、教科書を使うことに慣れることを目的に「みんなの日本語」を使用しながら、初級項目を学習する。また同時に、平日クラスの復習にも役立つような内容とする。学習者は、平日にも受講しているコンゴ5人に加え、ミャンマー人数名で構成。なお、学習者のレベルは、平日同様に初級者を対象とする。	ディラン恵子	羽毛田恵美
5	平成27年5月19日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わる 他者との関係を円滑にする ●自身の体験を他者に伝えることができる。	【語彙】疑問詞(いつ、どこ、だれ、なに)・動詞(行きます、聞きます、買います、わたります、まがります、あげます、もらいます)・形容詞(楽しい、安い、暑い、おいしい)・名詞(店員さん、おまわりさん、100円ショップ、ストッキング、サンダル、サングラス、まつすぐ、信号) 【語彙／動詞】つかれる・やめる・(電話を)かける 【目標項目】自身の行動について伝えることができる・自身が感じたことを表現することができる。現在形ではなく、過去形を使う。簡単な形容詞をおぼえる。 【文字】A:ひらがなの促音の書き方(縦書き、横書き)、長音読み方 B:カタカナの読み	蓼沼憲子	鈴木信明
6	平成27年5月20日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる 他者との関係を円滑にする ●「ちゃんと薬を飲みます」 ●「災害について勉強します」	【語彙】動詞(買います、作ります、切ります、あらいます、かざります、ふきかけます、たべます、のみます、うたいます、かたづけます) ケーキ 服 【語彙／動詞】教えます・考えます・気をつけます 【目標項目】自分がほしいものを伝える。約束を守ることが大切だと理解する。形容詞の否定形。 【文字】A:ひらがなの拗音の読み B:カタカナ、ナ・ハ行	蓼沼憲子	植木千津

7	平成27年5月21日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●「誕生日パーティーをしよう！」	【語彙】ひとつ～とお・いくつ・かしてくだ さい・ください・どっちがいいですか 【語彙／動詞】開ける・閉める・出かける 【目標項目】イベントの準備を手伝うこと ができる。頼まれている内容が理解で きる。お客さまを迎えることができる(ス リッパを出してあげる)(どっちの飲み物 がいいか、たずねることができる。)(お 客さまに飲み物、紙皿、フォークをさし あげることができる)。プレゼントのお れ、ケーキを食べた後に『ごちそうさま でした』と言える。必要なものを尋ね、 買い物ができる。領収書がもらえる。 【文字】カタカナ(パーティの中のカタ ナ語:ケーキ・ジュース・プレゼントカー ド・フォーク・ナイフ・スプーンなど)	ディラン恵子	鈴木信明 Y. C.
8	平成27年5月23日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	10人	コンゴ5人 ミャンマー 5人	Ⅶ-1 人とかかわる ●「欠席の電話をかけよう」 ●「近所の人に挨拶しよう」	【語彙】『みんなの日本語』2課の語彙、 教室を休む時の連絡のことば 【語彙／動詞】つかれる、やめる、(電話 を)かける 【目標項目】欠席の電話がかけられる (欠席の理由が言える)。おとなりの人 (日本人)の家にあいさつにいたり、プ レゼントをあげたりする表現がわかる。 【文字】1課と2課のことばのディクテ ーション	ディラン恵子	羽田恵美 ※ボランティア 1人
9	平成27年5月26日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●誕生日パーティーを 振り返る。	【語彙】かざります、うれしい、とても、忘 れ物 【語彙／動詞】押す、回す、消す 【目標項目】先週のできごとを伝えられ る。自分の意思を伝えられる。勉強が 終わったあとの、部屋の最後の確認が できる。 【文字】「あ」～「ん」まで一文字ずつ書き 順を意識した空中書き、拗音の読み	夢沼憲子	鈴木信明
10	平成27年5月27日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●「インタ ビューをしよう！」	【語彙】食べ物(パン、ごはん、さかな、 にく、たまご、やさい、くだもの)飲み物 (水、ぎゅうにゅう、コーヒー)スポーツ (サッカー、バスケットボール、マラソン) ホワイトボード、自己紹介、 【語彙／動詞】課す、直す、返す 【目標項目】ペアでインタビューをし、相 手に質問ができる。インタビューされ て、答えられる。依頼されたことのでき る。 【文字】①動詞8語の書き、動詞の一 文字書きのテスト②カタカナのカードの読 み	夢沼憲子	植木千津
11	平成27年5月28日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	Ⅶ 人とかかわる 他者との関係を円滑にする ●自分の経 験を人に伝える。	【語彙】食べ物(みそ汁、おにぎり、うどん、 カレーなど)、下痢、富士山、マクド ナルド、フライドポテト、お湯、まだ、もう 【語彙／動詞】買う、払う、使う 【目標項目】「もう」「まだ」を使って、経験 の有無を答えることができる。日本の簡 単な料理の名前がわかる。基礎動詞を 使って過去の出来事(先週の買い物、 パーティ)について話すことができる。カ タカナが読める。～月～日と言える。 【文字】総合表記の動詞8語のテスト、 名詞8語の読み。カタカナのカードの読 み。	ディラン恵子	鈴木信明 Y. C.

12	平成27年5月30日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	7人	コンゴ5人 ミャンマー2人	VII-14人とかかわる III-05(08)消費活動を行う ●「買い物の言葉を覚えよう」 ●「学校行事(運動会)の言葉を覚えよう」	【語彙】『みんなの日本語』3課の語彙、運動会のことば(かけっこ、体操、パンくい競争、玉入れ、綱引き、お弁当など)、断る時の表現(けっこうです)食料品、婦人服(子供服)地下 【語彙／動詞】教える、考える、(気を)つける 【目標項目】学校の行事(運動会)の簡単な種目がわかる、断る時の表現がわかる、場所(売り場)(国、会社、家、地図上)をきくことができる、値段を聞くことができる 【文字】運動会のことばのディクテーション	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア 1人
13	平成27年6月2日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII-14人と関わる 他者との関係を円滑にする ●「漢字に慣れよう」	【語彙】起きます、勉強します、家、出ます、帰ります、寝ます 【語彙／動詞】会う、話し合う、手伝う 【目標項目】時間が正確に読める・聞ける、漢字の書き方のルールがわかる 【文字】『総合表記』の名詞8語のテスト・名詞8語の読み、カタカナのカードの読み 『漢字だいすき』1課導入のページ・一、二、三	蓼沼憲子	鈴木信明 Y. C.
14	平成27年6月3日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII- 人と関わる 他者との関係を円滑にする ●「筆ペンを使ってみよう」 ●「時間やモノの個数を言えることができる」 ●「お箸を使ってみよう」	【語彙】いくつ、ひとつ～とお、いくら、全部で、ハンバーガー、カレー、ピザ、アイスクリーム、サンドイッチ、いくら、おつり、午前、午後 【語彙／動詞】習う、思う、言う 【目標項目】自分の生活ぶりや自分の国のことが少し話せるようになる:どの位の「時間」が言えるようになる、筆ペンで漢字を書き漢字の書き方の特徴が少しわかる、「～つ」の形で声に出して物が数えられるようになる、箸が使えるようになる。 【文字】総合表記の名詞8語のテスト・名詞8語の読み、漢字:四・五・六	蓼沼憲子	植木千津 Y. C.
15	平成27年6月4日(木) 14:00-16:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII- 人と関わる 他者との関係を円滑にする ●「小学校について知ろう」 ●「日本語のメニューを読もう」 ●日本の布について知る。	【語彙】1～4時間目、休み時間、給食、昼休み、ふきん、台拭き、手ふき、ぞうきん、ホットドッグ 【語彙／動詞】持つ、立つ、待つ 【目標項目】小学校の日課が少しわかる、小学校の日課の時間が言える、メニューの値段が言える、メニューの値段を見てお金が出せる、日本のいろいろな『布』の使い方がわかる 【文字】総合表記の助数詞8語のテスト・助数詞8語の読み、漢字:七、八、九	ディラン恵子	鈴木信明 Y. C. ※ヒアリング通訳
16	平成27年6月6日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	9人	コンゴ5人 ミャンマー4人	VII- 人と関わる I-01(03)健康に気をつける ●時間の言い方がわかる。 ●「梅雨について知ろう」	【語彙】『みんなの日本語』4課の語彙 梅雨、雨季、乾季、季節、蚊取り線香、かゆみ止め、扇風機、賞味期限 【語彙／動詞】開ける、閉める、出かける 【目標項目】時間の言い方がわかる、営業時間や仕事、勉強の時間を聞く事ができる(何時から何時まで?)、梅雨の時期の食品に気をつけたいといけなことが少しわかる、食品の賞味期限を見つけることができる 【文字】なし	ディラン恵子	羽毛田恵美 Y. C. ※ボランティア 1人

17	平成27年6月9日 (火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII- 人と関 わる 他者との関 係を円滑に する ●「困ってい ることを伝え よう」	【語彙】ちかてつ、でんしゃ、ひこうき、ス イカ、パスモ、住所、電話番号、白い、 黒い、赤い、いきます、きます、かえりま す、のります、おります、おとします 【語彙／動詞】曲がる、わたる、入る 【目標項目】往来動詞を理解し使えるよ うになる、交通手段(でんしゃ、ちかて つ、ひこうき)の「で」を使って発話でき る、今までの疑問詞(いつ、だれと、どこ から、どこへ)を聞いてスムーズに答え られる、困ったとき(スイカをおとした)の 簡単な説明ができる、具体的にほしい ものが言える(どんなNがほしいですか →黒いかばんがほしいです) 【文字】漢字:十、百、千、一～九の復習	蓼沼憲子	鈴木信明 Y. C.
18	平成27年6月10 日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII-人と関わ る 他者との関 係を円滑に する ●「トマトを 植えよう」	【語彙】ゾウ、ヘビ、ぶた、キリン、パン ダ、ネズミ、しっぽ、目、耳、口、足、赤 い、髪、背、種、植えます、水をやります 【語彙／動詞】要る、取る、作る 【目標項目】漢字テストのやり方を覚え る、「～は～が文」を使って特徴が言え る、説明ができる、文型を使って比較 の表現が言える、トマトの苗がしっかり植 えられる。(日々の世話と成長を楽しみ に苗を植える。) 【文字】総合表記:家族の名称	蓼沼憲子	植木千津 Y. C.
19	平成27年6月11 日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ5人	VII- 人と関わ る I- 01(01)医療 機関で治療 を受ける ●病院の言 葉を知る	【語彙】医者、指示、ことば(息、吸う、は く、伸ばす、腕、ひざ、横になるなど) 【語彙／動詞】乗る、座る、帰る 【目標項目】乗り物、場所の名前を復習 して『～で～へ行きます』が言える。～ は～が構文を復習して家族、教師につ いて言える。医者の簡単な指示がわか る。 【文字】文字テスト・漢字テスト(一～千 まで)、新出漢字:手、足、口	ディラン恵子	鈴木信明 Y. C.
20	平成27年6月13 日(土) 13:00-15:40	2.5	GOBLIN. 目黒店	8人	コンゴ5人 ミャンマー 3人	VII-1人とか かわる IV-07(10)公 共交通機関 を利用する X(47)電話 を利用する ●駅の言葉 を知る	【語彙】『みんなの日本語』5課の語彙、 駅のことば(改札口、ホーム、優先席、 つり革、1号車、定期、バス乗り場、交 番、自動販売機) 【語彙／動詞】押す、回す、消す 【目標項目】自分の生活の時間が言え る(勉強の時間、仕事の曜日など)。移 動場所と移動手段について会話するこ とができる。駅の中、駅のまわりにある ことばがわかる。電話をかけて知りたい こと(営業時間、休みの日)が質問でき る 【文字】拗音の発音が長くなりがちな ので『拗音』+『う』の読み練習	ディラン恵子	羽毛田恵美 Y. C. ※ボランティア 1人
21	平成27年6月16 日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII- 人と関わ る I 健康・安全に暮らす O1 健康を保 つ ●「日本の 学校の雰囲気を感じ取ろ う」 ●病気の言 葉を知る	【語彙】校長先生、校長室、副校長先 生、担任の先生、教室、職員室、事務 室、席、ランドセル、国旗、顔色、悪い、 頭、痛い、風邪、熱、大文夫、看護師、 お医者さん、薬、飲みます 【語彙／動詞】 【目標項目】小学校のDVDを見て、先生 や友達と挨拶ができる。病氣表現が言 える。変化の表現(よくなりました。元氣 になりました)が言える。 【文字】漢字:耳・目	蓼沼憲子	鈴木信明 Y. C.
22	平成27年6月17 日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII- 人と関わ る ●給食につ いて理解する	【語彙】新しい、古い、暑い、寒い、い い、悪い、おもしろい、やさしい、難し い、おいしい、高い(2つの意味)低い、 安い、忙しい、元氣、親切、きれい、に ぎやか、ひま、便利、有名、静か、春、 夏、秋、冬 【語彙／動詞】読みます、 【目標項目】体の一部分の漢字が読め る、書けるようになる。形容詞の意味を 理解し、それを使った文が話せる。DVD の給食の場面を見て、その挨拶や当番 の仕事などを理解する。 【文字】上、下、右	蓼沼憲子	※ボランティア 1人

	平成27年6月18日(木) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	5人	コンゴ5人	ヒアリングの 実施	これまでの授業の振り返り・困っている こと・学習したい事等をグループヒアリン グ	—	矢崎理恵 (通訳1人)
23	平成27年6月20 日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	9人	コンゴ5人 ミャンマー 4人	VII-1人とか かわる ●「相手と仲 良くなろう」	【語彙】『みんなの日本語』6課の語彙、 野菜と果物の名前(きゅうり、にんじん、 とまと、キャベツ、じゃがいも、すいか、 ぶどう、りんご、みかん)、野球、お寺、 教会、マラソン、10キロ 【語彙／動詞】貸す、直す、返す 【目標項目】動詞を使って、自分の生活 について話す事ができる。動詞を使っ て、相手の生活について質問すること ができる。野菜、果物の名前がわか る。 【文字】6課の語彙のディクテーション	ディラン恵子	羽毛田恵美 Y. C. ※ボランティア 1人
24	平成27年6月23 日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウ ン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わ る ●「趣味につ いて話そう」	【語彙】泳ぐ、急ぐ、遊ぶ、呼ぶ、かか る、入る、待つ、持つ、習う、貸す、出 す、かける、迎える、開ける、閉める、散 歩する 【語彙／動詞】遊ぶ、呼ぶ、死ぬ 【目標項目】経験したことについて、感 想を述べる事ができる。動詞には3つ のグループがあることを理解し、そのグ ループ分けができる。動詞の形「辞書 形」のつくり方が分かり、その動詞を 使って自分の趣味を伝えることができる。 【文字】左、中、大きい、小さい、早い、 正しい	蓼沼憲子	鈴木信明
25	平成27年6月24 日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウ ン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わ る ●自分の得 意なことにつ いて話す	【語彙】登る、旅行する、(ドラムを)たた く、採る、スキー 【語彙／動詞】行く、持っていく、置く 【目標項目】昨日勉強した「辞書形」を 使って、自分の能力を話したり、答えた りできる。程度の副詞を使って、どの位 できるか、伝えることができる。みんな で水やりをして食べごろになったプチ マトを飾り、サラダを作る 【文字】赤、青、白	蓼沼憲子	植木千津
26	平成27年6月25 日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウ ン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わ る ●日本の食 べ物にチャレ ンジ!	【語彙】映画、インターネット、パレー ボール、バスケットボール、手芸、遊具 (ブランコ、縄跳び、滑り台)つりをしま す、芝生、たばこ、つりをします、自転車 に乗ります、花をとります、納豆、豆腐、 醤油 【語彙／動詞】聞く、書く、働く 【目標項目】既習の「辞書形」を使って、 自分の能力を話すことができる。辞書 形を使って、公園でできること、できない ことを話すことができる。経験したことを 話すことができる。日本の食べ物を味 見して感想が言える。 【文字】夕がた、天、気	ディラン恵子	鈴木信明
27	平成27年6月27 日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	8人	コンゴ5人 ミャンマー 3人	VII-1人とか かわる ●日本の年 中行事を理 解する	【語彙】『みんなの日本語』7課の語彙、 電話代、ガス代、電気代、お正月、パレ ンタインデー、こどもの日、母の日、父 の日、お見舞い、敬老の日、クリスマ ス、船に乗る、カラオケ、コンサート、 せっけん、結婚式 【語彙／動詞】買う、払う、使う 【目標項目】『～ませんか』を使って友達 を誘うことができる。『日本語で何で すか?』を使って質問することができる。 日本の行事の名前がわかる。日本で はどんな時にどんな物をあげたり、も らったりするのかがわかり、自分の国で はどんなものをあげてもらいするかが話 せる。 【文字】7課の文型のディクテーション	ディラン恵子	羽毛田恵美 Y. C. ※ボランティア 1人

28	平成27年6月30日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わる ●お願いをする	【語彙】あびる、呼ぶ、読む、取る、見せる、曲がる、在留カード、宿題 【語彙／動詞】脱ぐ、泳ぐ、急ぐ 【目標項目】「て形」の導入。「て形」を使って、簡単な依頼、指示、申し出ができる。「～てください」。「～てください」を聞いて、適切に応えられる。 【文字】日、月、空、雨、しりとり	蓼沼憲子	鈴木信明
29	平成27年7月1日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わる VIII(15)住民としてのマナーを守る ●ごみの出し方を理解する	【語彙】ごみの出し方、フライパン、新聞紙、ペットボトル、ラベル、ひも、しばります、はがします、包みます、洗います、そのまま、だし、歯を抜く、歯医者、太ります 【語彙／動詞】する、来る、持ってくる 【目標項目】「～てください」を使って日本人のお客様を家に迎えることがわかる。「～てもいいですか?」を使って、公園やスーパーでできることかを質問することができる。ゴミの出し方を質問することができる。簡単なゴミの出し方、リサイクルの仕方がわかる。 【文字】「かんじだいすき」7課	ディラン恵子	植木千津
30	平成27年7月2日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「レシピを読んでみよう」	【語彙】皮をむく、いためる、煮る、煮込む、混ぜる、焼く、揚げる、蒸す、カレー、うどん、にんじん、じゃがいも、たまねぎ、結婚する、洗濯する、修理する、ノックする、チケット、映画 【語彙／動詞】 【目標項目】「て形」を使ってほしいものを見せてもらう会話ができる。生活の中の行動を、順を追って話せる。掃除やカレーのレシピから、手順を(～て、～てから)理解する。 【文字】火、水、石、土	蓼沼憲子	鈴木信明
31	平成27年7月4日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	8人	コンゴ5人 ミャンマー3人	VII-1人とかかわる ●「近所の人と話してみよう」	【語彙】『みんなの日本語』8課の語彙 そうめん、枝豆、冷凍食品、そのまま、ざるそば、「かわいいあかちゃんですね」「行ってきます/行つてらっしゃい」「ただいま/お帰りなさい」「よく降りますね」「暑いですね」「そうですね」「きれいな花ですね」「～ましようか」 【語彙／動詞】会う、話し合う、手伝う 【目標項目】「～ましようか」を使って手伝いを申し出ることができる。「もう」と「まだ」を使って日本の生活の経験を話すことができる。七夕の行事についてわかり、願い事を書くことができる。近所の人との簡単なあいさつ会話ができる 【文字】あいさつことばのディクテーション	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア1人
32	平成27年7月7日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	6人	コンゴ5人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「友達を誘おう」	【語彙】散歩、公園、山、ハイキング、川、釣り、スーパー、買い物、映画、プール、お土産、コーヒー、ごはん、銀行、コンサート、チケット、駅、改札口、ディズニーランド、本、図書館、残念 【語彙／動詞】行く、来る、会う、見る、借りる、泳ぐ、飲む、食べる、帰る、ある 【目標項目】ものを見て、値段を考えて、値段が言える。値段を聞いて、値段を聞き取り、書ける。一緒に行くことを提案したり、誘ったりすることができる。相手からの誘いに応じて、積極的に応じる答え方ができる。移動の目的が言える。 【文字】火、水、土、石	蓼沼憲子	鈴木信明

33	平成27年7月8日 (水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる 「友達を誘おう2」	【語彙】豚肉、とんかつ、イスラム、フライドチキン、飲み物、水、コーヒー、ジュース、牛乳、お酒、お茶、紅茶、乗り物、飛行機、新幹線、バス、電車、地下鉄、船、タクシー、野菜、きゅうり、にんじん、キャベツ、じゃがいも、果物、すいか、ぶどう、リンゴ、みかん、目黒、成田、東京、うれしい 【語彙／動詞】勉強する、迎える、揚げる、食べる、飲む、作る、行く、来る 【目標項目】誘いに対して簡単な理由を言って断ることができる。近所の人と挨拶ができ、どこに行くか目的が言える。日本に来た時の状況を答えられる。簡単な比較ができる。 【文字】「かんじだいすき」1課～8課の復習テスト	蓼沼憲子	植木千津
34	平成27年7月9日 (木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●日本の「きちんと」を理解する ●「注文してみよう」	【語彙】パイナップル、新聞、これでもいいですか、～がいいです、タオル、王様、紙袋、ナイフ、フォーク、スプーン、ハンバーガー、チーズバーガー、フライドポテト、コーラ、ホット、アイス、オレンジジュース 洗濯物 【語彙／動詞】洗濯のことは(干します、乾きます、たたみます、しまいます、手で洗います)、散歩します、弾きます、買い物します、お風呂に入ります、入れます、ごちそうします お金を払います 【目標項目】「きちんと」といろいろなことができる(窓閉め、洗濯物たたみ、漢字の書き方)。指示された通りにできたか「これでもいいですか」と聞く事ができる。メニューの中から「～がいいです」と選んで伝えることができる。『～ませんか⇒～ましょう』比較文などの復習をする。 【文字】「かんじだいすき」9課	ディラン恵子	鈴木信明
35	平成27年7月11日 (土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	5人	ミャンマー 5人	VII-1人とかかわる ●「おしゃべりタイムの練習をしよう」	【語彙】『みんなの日本語』8課の語彙復習、エアコンのリモコン、運転、停止、風向、風量、暖房、冷房、除湿、運転切換、温度、湿度 【語彙／動詞】習う、思う、言う 【目標項目】来週のおしゃべりタイムの自己紹介ができる。ボランティアさんに質問ができる。ボランティアさんの質問に答えることができる。エアコンのリモコンのことは、漢字の簡単な意味がわかる。 【文字】形容詞の書き取り	ディラン恵子	※ボランティア 1人
36	平成27年7月14日 (火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●今何をしているか伝える	【語彙】コンサート、服、歌、代々木上原、おおぜい、ピアノ、ダンス、写真、音楽、ワイン、自転車、ジーンズ、Tシャツ、アフリカ、讃美歌 【語彙／動詞】出る、練習する、する、着る、歌う、聞く、来る、歌う、弾く、撮る、飲む、食べる、話す、住む、持つ、結婚する、教える、習う 【目標項目】土曜日のコンサートについて、状況や感想が言える。今していることが言える。家族や仕事などの話題が話せる(～ています)。 【文字】「かんじだいすき」10課:犬、虫、買、草、竹、花	蓼沼憲子	鈴木信明
37	平成27年7月15日 (水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「相手と仲良くなろう2」	【語彙】手巻き寿司、のり、卵焼き、チーズ、みそ汁、お風呂、本屋、パーティ、あみだくじ 【語彙／動詞】捨てる、さわる、騒ぐ、(ろうかを)走る、遅れる、心配する、忘れる、持ってくる、連れてくる、(くつを)はく、押す、(車を)とめる、知る、(ピアノを)弾く 洗濯する、運転する、(シャワーを)浴びる、笑います、泣きます 【目標項目】「どこに住んでいますか」「仕事は何をしていますか」「～を持っていますか」「～さんを知っていますか」などを使って質問することができる。友達、家族が今、何をしているか話すことができる。いろいろな禁止のサインを見て意味を理解することができる。 【文字】「かんじだいすき」11課:学、校、年、本	ディラン恵子	植木千津

38	平成27年7月16日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	4人	コンゴ4人	VII 人と関わる ●「おばあちゃんに、メールをだそう！」	【語彙】交通が便利、バス、地下鉄、電車、暑い、速い、きれい、むずかしい、楽しい、甘い、おいしい、楽しみ、給食、一緒、同じ、友達の家、図書館、電話番号、住所、名前 【語彙／動詞】住む、知っている、勉強する、待つ 【目標項目】「～ています」、「～ないでください」の表現を場面に応じて使い分け、しっかり言える。「～てはいけません(禁止の表現)」「ないでください(規則や禁止事項)」のニュアンスの違いを聞いて理解できるようになる。「～ています」の含まれる文章が理解できる(家族(私)の状態が分かるEメールを読んで理解できる)。自分の近況を書いて伝えることができる。手紙形式で文章が書ける(メール文を参考に自分の状態を友達かおばあさんに書いてみる)。 【文字】「かんじだいすき」11課後半：文、字、音、名	蓼沼憲子	鈴木信明
39	平成27年7月18日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと216階会議室	8人	コンゴ4人 ミャンマー人4人	VII-1 人とかかわる ●「ボランティアさんとおしゃべりタイムを楽しもう！」	【語彙】『みんなの日本語』9課の語彙、うれしい、しあわせ、やさしい、あかるい、おとなしい、悲しい、寂しい、つまらない、こわい、形容詞の過去形 【語彙／動詞】持つ、立つ、待つ、曲がる、渡る、入る 【目標項目】ボランティアの方との会話を楽しむ。ボランティアの方と日本語のゲームをすることができる。象形文字の漢字を学習する。おしゃべりタイムの感想を伝えることができる。人の性格、自分の気持ちを伝えることばがわかる。 【文字】漢字(日、月、火、水、木、金、土)	ディラン恵子	羽毛田恵美
40	平成27年7月21日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●日本の食材を準備する。	【語彙】味、おいしい、甘い、辛い、しょっぱい、すっぱい、にがい、調味料、油、オリーブオイル、ごま油、コンソメ、酒、みりん、ソース、砂糖、塩、ペットボトル、資源ごみ、さわる、思う 【語彙／動詞】 【目標項目】過去の出来事(週末にやったこと)が言える。思っていることが言える。日本の調味料や明日使う食材を理解する。 【文字】「かんじだいすき」12課：厘、お金、円、玉、村	蓼沼憲子	鈴木信明
41	平成27年7月22日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「日本料理をつくろう！」	【語彙】まな板、包丁、わさび、卵焼き、だし、のり、きゅうり、にんじん、オクラ、ツナ、チーズ、漬け物、大根、高菜、デザート、炊飯器、バナナケーキ、マーマレード 【語彙／動詞】切ります、入れます、計ります、混ぜます、味見します、作ります、塗ります、のせます、まきます、包みます、からい、すっぱい、結びます、似ています 【目標項目】料理のことばがわかる。簡単な日本料理の材料の名前と使い方がわかる。みそ汁の作り方がわかる。食事のマナーに気をつけながら楽しくて巻き寿司を作って食事を楽しむことができる。 【文字】「かんじだいすき」12課：町、力、糸、車	ディラン恵子	植木千津 ※ボランティア 2人

42	平成27年7月23日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●日本の食材や料理について、学んだことを説明する	【語彙】レシート、わさび、だし、のり、きゅうり、にんじん、オクラ、アボガド、チーズ、お米、味噌、マヨネーズ、ツナ、牛肉、ちくわ、卵、卵焼き、なつとう、キムチ、かにかま、玉ねぎ、じゃがいも、高菜、いなりずし、調味料、しょうゆ、みりん、料理用酒、サラダ油、オリーブオイル、だし、酢、引越し、ほんの気持ち、妻、長男、次男、長女、次女 【語彙／動詞】起きる、食べる、寝る 【目標項目】昨日行った「日本の味」について、簡単な報告ができる。レシートを見て、何を買ったか、理解できる。日本の調味料や食材を写真を見ながら、説明できる。チャールスさん一家が新しい隣の人へ挨拶ができる。 【文字】「かんじだいすき」13課:休みます、出ます、立ちます、見ます、入ります	蓼沼憲子	鈴木信明
43	平成27年7月25日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと216階会議室	9人	コンゴ4人 ミャンマー人5人	VII-1人とかかわる I-01-(03)健康に気をつける ●熱中症について学ぶ	【語彙】『みんなの日本語』9課語彙復習、熱中症、水分、塩分、塩飴、休養、気をつけます、日傘、さぼうと語彙集から『台所のもの』と『調味料』、 【語彙／動詞】要る、取る、作る、乗る、座る、帰る 【目標項目】熱中症の意味とその予防の方法がわかる。理由の「～から」を使って自分のことが話せる。象形文字の漢字を学習し、簡単な日本人の名前が読める。簡単なストーリーを読んで内容を理解することができる。 【文字】漢字:山、川、田、人	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア1人
44	平成27年7月28日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●経験を伝える	【語彙】富士山、新幹線、ディズニーランド、池袋、アフリカ、公園、怖い、面白い、可愛い、若い、大丈夫 【語彙／動詞】見る、覚える、忘れる 【目標項目】動詞の「た」形を覚える。経験をしたこと聞いた、述べたりすることができる。2、3つ行動した(する)ことを1文で述べるすることができる。自分がいつかしたいことを述べるすることができる。 【文字】「かんじだいすき」14課:曜日	蓼沼憲子	鈴木信明
45	平成27年7月29日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	4人	コンゴ3人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「作文にチャレンジ！」	【語彙】ブランコ、鉄棒、花火、バーベキュー、富士山、冬、夏、雪、郵便局、手紙、電話、写真、絵 【語彙／動詞】覚える、忘れる、考える 【目標項目】経験をしたいことを述べるすることができる。経験や2、3つの行動を1文にした文章を読んで、理解できる。文章を読み、そのテーマから簡単な文章が書ける。 【文字】「かんじだいすき」1年生の漢字、読み半分	蓼沼憲子	植木千津
46	平成27年7月30日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII-1人とかかわる I-01-(03)健康に気をつける ●熱中症について学ぶ	【語彙】箸、自転車、新聞、お酒、いびき、ゆかた、着物、運転、出口、すもう、プール、歌舞伎、新幹線、使う、乗る、登る 【語彙／動詞】教える、始める、やめる 【目標項目】～たり～たりする、～たことがあるの文法を復習する。可能形の作り方がわかって自分のことで可能形の文を作ることができる。熱中症についてわかり、塩分、水分を摂ることの大切さがわかる。 【文字】「かんじだいすき」1年生の漢字でまちがいやすい漢字の書き	ディラン恵子	鈴木信明

47	平成27年8月1日 (土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	8人	コンゴ4人 ミャンマー 4人	VII-1人とか かわる ●日本語の レシピを読む	【語彙】「みんなの日本語」10課語彙、炊飯器、ケーキ、材料、作り方、バター、牛乳、ホットケーキミックス、噴水、ベンチ、干し魚、仏教、信じます、大仏、さぼうと語彙集11ページ『店』 【語彙／動詞】読む、休む、飲む、遊ぶ、呼ぶ、死ぬ 【目標項目】「あります」を使って自分の国のことが話せる。日本語のレシピを読んで材料がわかる。象形文字の簡単な漢字が読める、書ける。修了式に向けて日本語でスピーチの内容を考えることができる。 【文字】漢字：車、雨、門、目、口	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア 1人
48	平成27年8月4日 (火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	4人	コンゴ3人 ギニア1人	VII 人と関わる ●悔しい時の表現	【語彙】郵便局、図書館、公園、ブランコ、鉄棒、スーパー、コンビニ、銀行、カラオケ、プール、海、川、エアコン、熱、薬、高い、約束、 【語彙／動詞】復習 【目標項目】可能形がしっかり言えて、可能形を使った文が理解できる。「て形・た形」拍を意識して、間違いなく言える。予想外の結果の表現ができるようになる。(～のに、～ませんでした/ません/ています) 【文字】「かんじだいすき」2年生1課と春・夏・秋・冬	蓼沼憲子	鈴木信明
49	平成27年8月5日 (水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	4人	コンゴ3人 ギニア1人	VII 人と関わる ●レシピを書く	【語彙】うれしい、楽しい、悲しい、寂しい、恥ずかしい、まずい、重い、眠い、暇、拾う、落とす、かぜをひきました、プレゼントをもらいました、手伝いましたようか 【語彙／動詞】換える、着替える、乗り換える 【目標項目】『～そうですね、どうしたんですか』を使って尋ねることができる。イベント等の企画をする中で、(修了式)他の人の意見を聞きながら、自分の意見(どんな修了式にしたいか)を述べるができる。日本の歌(『ふるさと』)の歌詞を読んだり、歌ったりできる。日本のお話の読み聞かせを聞いて理解し、楽しむことができる。 【文字】「かんじだいすき」1課：里、麦、米	ディラン恵子	植木千津
50	平成27年8月6日 (木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	3人	コンゴ3人	VII 人と関わる ●動詞普通体で話す	【語彙】おいしい、からい、広い、近い、忙しい、やさしい、元気、ボタン、雨、風、荷物、火、スカート、ふくろ、さる、歯 【語彙／動詞】なし 【目標項目】状況を見て、想像したり、感じたりしたことが述べられる。「です、ます」ではなく、友達言葉が使える。友達言葉の対応ができる。(目上の人に、友達に)日記が書ける。 【文字】「かんじだいすき」2課：色、黒、黄、茶	蓼沼憲子	鈴木信明
51	平成27年8月8日 (土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	9人	コンゴ4人 ミャンマー 5人	VII-1人とか かわる ●ミニ誕生日会&ケーキづくり	【語彙】『みんなの日本語』10課語彙復習、まな板、リサイクル、ペーパーカップ、紙コップ、ペーパープレート、紙皿、ふきん、台拭き、計量カップ、お手拭き、ホイップクリーム、お湯、生姜、電子レンジ、インスタント、つぶします、計ります、混ぜます、溶かします、入れます、スイッチを入れます、できました、最初に、次に 【語彙／動詞】行く、持っていく、置く 【目標項目】「～はどこにありますか／いますか」を使って質問ができる。日本語のレシピを読んで作り方がわかる。象形文字の簡単な漢字が読める、書ける。修了式に向けて日本語でスピーチの内容を考えることができる。 【文字】耳、手、足、女、子	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア 1人

52	平成27年8月11日(火) 13:00-15:40	2.5	本所防災館	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる I 健康・安全に暮らす 02(05)災害に備える	各種災害体験	—	矢崎理恵 鈴木信明 柴田都志子
53	平成27年8月12日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる I 健康・安全に暮らす 02(05)災害に備える ●地震時の約束事を確認する	【語彙】洗います、拭きます、運動します、(ごみを)出します、料理を作ります、連れていきます、～なければなりません 【語彙／動詞】(電話を)かける、浴びる、疲れる 【目標項目】防災センターで学んだことを復習する。ハンドベルの演奏ができる。『～なければなりません』を使ってしななければならないことが言える。 【文字】「かんじだいすき」2課後半:形、同じ、角	ディラン恵子	植木千津
54	平成27年8月13日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●「招待状を書こう」	【語彙】修了式、招待状、ぼうし、パーティ、スピーチ、ゆか、モップ、掃除機、まど、鍵、かけます、かぶります、かけます、洗います、拭きます、なぜをひきました、～かもしれません 【語彙／動詞】(エアコンを)つける とめる 【目標項目】修了式の招待状が書ける。『～かもしれません』を使って予想していることを話すことができる。 【文字】「かんじだいすき」3課前半:親、牛、馬	ディラン恵子	※ボランティア 1人 鈴木信明
55	平成27年8月15日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	8人	コンゴ4人 ミャンマー4人	VII-1人とかかわる III 消費活動を行う (08) 物品購入・サービスを利用する	【語彙】『みんなの日本語』11課語彙復習、気持ちのことば(うれしい、楽しい、悲しい、寂しい、羨ましい、懐かしい、びっくりする、ドキドキする、がっかりする、わくわくする) 【語彙／動詞】聞く、書く、働く 【目標項目】ひとつ～とお』を使ってファーストフード店で買う事ができる。感情のことばを使って、自分の気持ちが伝えられる。修了式のスピーチの練習をする。象形文字の簡単な漢字が読める、書ける。 【文字】先、生、男、力、学、留	ディラン恵子	羽毛田恵美
56	平成27年8月18日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●連体修飾	【語彙】シャツ、オーバー、セーター、スーツ、ワンピース、ズボン、くつ、靴下、スカート、帽子、ヘルメット、メガネ、かさ、本、ケーキ、物、所、文房具、店、消しゴム、ノート、シャーペン、リボン、100円ショップ、カレー、服、生地、パーゲン 【語彙／動詞】開ける、入れる、閉める 【目標項目】先週勉強した「かもしれません」が使える。人や物をより詳しく説明できる。(連体修飾を使って)(2)の表現を使って、会話ができる。 【文字】「かんじだいすき」3課:魚、鳥、羽、鳴く	蓼沼恵子	鈴木信明
57	平成27年8月19日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●劇の練習	【語彙】パソコン、ボール、かわいい、校長先生、ティッシュ、リコーダー、持ち物、ハンカチ、見学、ホワイトボード、当番、モップ、忘れます、落とします、なくします、とれます、やぶれます、まちがえます、こわれます、逃げます、太ります、遅れます、チェックします 【語彙／動詞】借りる、集める、捨てる 【目標項目】連体修飾文の復習をする。『～てしまいました』を使って後悔、残念な気持ちを表現できる。修了式の寸劇の練習をする。 【文字】「かんじだいすき」父、母、兄	ディラン恵子	植木千津

58	平成27年8月20日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●修了式の準備	【語彙】誕生日、本、服、時計、くつ、CD、病気、薬、掃除、洗濯、料理、道、席、地図、めがね、パスモ、ハンカチ、ティッシュ、筆箱、鉛筆、消しゴム、定規、あげる、もらう、くれる 【語彙／動詞】出る、気を付ける 【目標項目】昨日の復習「てしまいました」→「ちゃった」正しく使える。授受表現「Nをくれます」「～てくれます、～てもらいます、～てあげます」気持ちも表すことを理解する。今まで勉強してきた中で「たのしかったこと」「大変だったこと」を考えて、自分で表現してみる。 【文字】「かんじだいすき」姉、弟、妹	蓼沼憲子	なし
59	平成27年8月22日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと216階会議室	7人	コンゴ4人 ミャンマー3人	VII-1人とかかわる ●「ひとこと会話で便利なフレーズを覚えよう！」	【語彙】『みんなの日本語』11課語彙復習、発表会、違い、理由、次、役にたつ表現(もう少しゆっくりお願いします。もう一度お願いします。この漢字は何と読みますか。どういう意味ですか。これでいいですか。これ、もらってもいいですか。どうしたらいいですか。) 【語彙／動詞】脱ぐ、泳ぐ、急ぐ、する、来る、持つてくる 【目標項目】『～時間』『～か月』を使って自分のことが言える。日本人に質問、お願いしたい時に役に立つ表現が使える。修了式のスピーチの練習をする。象形文字の簡単な漢字が読める、書ける。 【文字】1課、2課漢字復習、漢字：一～十	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア1人
60	平成27年8月25日(火) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●劇の練習	【語彙】友達、自転車、日本料理、地下鉄、挨拶、日本語、ひらがな、かたかな、漢字、目黒掃除機、ホワイトボード、モップ、ハンカチ、ティッシュ、筆箱、鉛筆、消しゴム、つめ、検査、チェック 【語彙／動詞】出す、思い出す、話す 【目標項目】可能形の復習、可能形を使って、変化の表現を勉強し、何ができるようになったかを話すことができる。修了式の練習で、自分のセリフが言えるようになる。 【文字】「かんじだいすき」友、自(てん車)、オ、話す	蓼沼憲子	鈴木信明
61	平成27年8月26日(水) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●劇の練習、授受表現	【語彙】友達、自転車、日本料理、地下鉄、挨拶、日本語、ひらがな、かたかな、漢字、目黒千石、掃除機、ホワイトボード、モップ、ハンカチ、ティッシュ、筆箱、鉛筆、消しゴム、つめ、検査、チェック、セーター、かさ、やすいみせ、ジュース、古い絵、コンサート、荷物、案内 【語彙／動詞】押す、回す、消す 【目標項目】修了式の練習で、自分のセリフが言えるようになる。流れをしっかりと理解できる。気持ちの授受表現を確認し、理解する。 【文字】「かんじだいすき」何、万、台、数える、前、後ろ	蓼沼憲子	植木千津
62	平成27年8月27日(木) 13:00-15:40	2.5	にほんごタウン	5人	コンゴ4人 ギニア1人	VII 人と関わる ●修了発表会	【語彙】 【語彙／動詞】 【目標項目】 【文字】	ディラン恵子 蓼沼憲子	※ボランティア 2人 ※来賓者あり

63	平成27年8月29日(土) 13:00-15:40	2.5	さぼうと21 6階会議室	9人	コンゴ4人 ミャンマー 5人	VII-1人とか かわる ●修了式	【語彙】『みんなの日本語』12課語彙、 ひとこと会話(あいさつ、おじゃましま す、お先に失礼します、写真、お願い します、がんばって、乾杯、そうですね、 てつだいましょうか、お願いします、いい え、結構です そろそろ失礼します、どう ぞ)修了証書、以下同文 【語彙／動詞】 【目標項目】『～時間』『～か月』を復習 する。日本人に使える簡単なひとこと会 話がわかる。形容詞の過去形を使って 過去のことを話す事ができる。修了式 に参加してスピーチの発表ができる。 【文字】1課、2課、3課漢字読み復習	ディラン恵子	羽毛田恵美 ※ボランティア 1人
	平成27年9月5日 (木) 13:00-15:40	1.5	さぼうと21 6階会議室	3人	ミャンマー3	ヒアリングの 実施	これまでの授業の振り返り・困っている こと・学習したい事等＋レベルチェック	—	長崎清美 矢崎理恵 MA LIA MANG CHIN KHAI

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第3回 平成27年5月14日】

【目標項目】

- 1 行きたい場所への行き方を質問することができる。
- 2 質問の前と後に『すみません』の声かけと『ありがとうございます』のお礼が言える。
- 3 近所の人に『行ってきます』『ただいま』などのあいさつができる。
- 4 食事、おやつの前後のあいさつができる。

【体験テーマ】「スーパーに行ってみよう」(VII 人とかかわる／他者との関係を円滑にする)

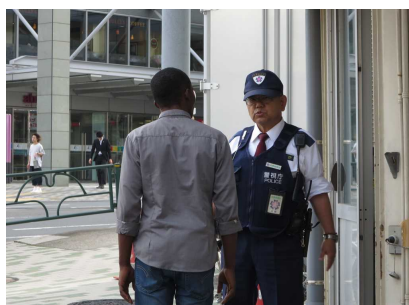
【流れ】

- 1 復習(日時や曜日、天気などの語彙)
- 2 文字学習(レベル別に分かれて)
- 3 学習内容の説明
- 4 絵カードで場所の言葉を確認。それから、場所を聞く会話の練習
- 5 店内の売り場の言葉を確認、階を聞く会話の練習
- 6 外出して、駅ビル内の八百屋さんで売り場を尋ねてみる。その後、別の階の売り場を尋ねてみる。
交番で場所を尋ねる。

7 教室に戻り、挨拶言葉を練習(*後日、フランス語訳付「挨拶」の読み物を配布)

【学習した語彙】どこ、郵便局、学校、教室、スーパー、売り場(魚、野菜、靴、本)、階、何階、100円ショップ、地下1階
あいさつのことば:『いただきます』『ごちそうさま』『いってらっしゃい』『いってきます』『ただいま』『おかえりなさい』

【学習した文字】A:カタカナ、マ～ヲ B:カタカナ、タ～ト



取組事例②

【第40回 平成27年7月18日】

【目標項目】

- 1 日本人ボランティアとおしゃべりを楽しむ
- 2 日本人と日本語のゲームを楽しむ
- 3 象形文字の漢字を学習する
- 4 (おしゃべりの)感想を伝える
- 5 人の性格や自分の気持ちを伝える言葉がわかる

【体験テーマ】「ボランティアさんとおしゃべりタイムを楽しもう！」(Ⅶ 人とかかわる／他者との関係を円滑にする)

【流れ】

- 1 個々に「おしゃべり」のための自己紹介や質問の練習をする
- 2 シャドウイング(基礎動詞6語)
- 3 「おしゃべりタイム」
 - ・予め決められた日本人ボランティア(おしゃべり相手)を探す
 - ・自己紹介をする(してもらう)
 - ・質問をする(2週間前から準備していたもの)
 - ・簡単な形容詞のクロスワードパズルを日本人ボランティアと一緒に楽しむ
- 4 『はじめの500語』で性格の言葉や気持ちの言葉を学習し、おしゃべりタイムの感想と自分がおしゃべりをしたボランティアについて話す
- 5 象形文字を学習する
- 6 『みんなの日本語』9課を使い、「好きです」を使って互いに質問し合う



(9) 目標の達成状況・成果

・①講座中間および修了時に実施したヒアリング(仏語・ビルマ語の通訳あり)での聞き取り、②振り返りシートでのアンケート結果、③文化庁から依頼のアンケート結果、④指導者、指導補助者、コーディネーターの観察により目標の達成状況・成果を検証する。

まず、本講座の目的であった「日常生活において最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行える(または、行えるという意識がもてる)ようになること。各人が日本社会の一員としての意識を高め、日々の生活の豊かさを求める姿勢がもてるようになること」については、「十分に達成された」と判断する。とくに来日直後で全く日本語を話したり理解したりできなかった受講者が、講座中盤から様々な生活上の行為(電車に乗る、道を聞く、買い物をするなど)を他者の助けを借りずにできるようになっていったことは喜ばしい学習の成果であった。

その一方で、すでにある程度日本語のできる受講者は、「達成感」以上に「まだまだ」という意識を強くもったようだ。③のアンケートでも、ゼロスターター(のうちアンケート提出者)5名全員が「日本語が上手になったと思う」と回答しているのに対し、ある程度日本語のできた受講者3名は全員「まあまあ上手になったと思う」という回答であった。また、①②の結果から、彼等は文法についても学びたい、教科書があった方が良いと回答している点が特徴的である。

「ボランティアで参加する日本人住民が外国人住民への理解を深め、コミュニケーション力を向上させ、外国人住民と共に暮らす日常を楽しめるようになること」についても、「十分に達成された」と判断する。とくに「生活者のための日本語教育」の展開や学習者の成長を実感できた体験は、その後の当会の活動の様子からも大きな意味があったと感じさせる。

(10) 今後の改善点について

・授業の進め方は、いくつかの体験を組み合わせで行われるが、事後シラバスの要素が強い。受講者に対して、事前に「何が学べるか」を示していくことが、動機付けにもつながると思い、「体験型初級日本語支援事例集」の作成を開始している。その検証が今後の課題でもある。

・受講者からは「文法を学びたい」「文字を学びたい」という要望があいかわらず強い。今回の講座は回数が多かったため、試験的に教科書を使って「文法」や「文型」を学ぶ日を設けたが、次年度以降、限られた時間の中で、いかに効率よく、また効果的に「文法・文型」と文字を学べるかは依然として課題として残る。

【日本語教室】

(1) 活動名称

体験を通して学ぶ初級日本語講座(秋冬講座)

(2) 目的・目標

・生活者としての外国人である受講者(難民)が日常生活において最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行える(または、行えるという意識がもてる)ようになること。あわせて、日本社会の一員としての権利や義務を理解した上で、各人が日本社会の一員としての意識を高め、日々の生活の豊かさを求める姿勢がもてるようになること
・ボランティアで参加する日本人住民が、教室での活動を通じて、外国人住民への理解を深め、コミュニケーション力を向上させ、教室での学びを日々の生活に生かして、外国人住民と共に暮らす日常を楽しめるようになること

(3) 対象者

東京近郊に在住する難民で、日本語でのコミュニケーションがほとんどできない人

(4) 使用した教材・リソース

・『はじめの500語』(当会作成教材)
・『あいうえおのれんしゅう』『アイウエオのれんしゅう』(当会作成教材)
・『にほんご45時間』・『かんじ だいすき』
・『みんなの日本語』・『足し算引き算日本語クリアー』
・講師作成教材

(5) 参加者の総数 8 人

そのうちの日本語学習者数 8人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。 ・ミャンマー4人 ・シリア1人 ・エジプト1人 ・ガーナ1人 ・パレスチナ1人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

(6) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 20 回)

(7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年10月10日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	VII-14-(31) 他者との関係を円滑にする 人となきあう ◎自己紹介ができる ◎欠席の電話がかけられる	■語彙 自己紹介の語彙(わたしの名前 国 家族 ～人 趣味 好きな食べ物 よろしく願います) 1～12 ■欠席の電話の語彙(日本語教室 用事 仕事 あります 風邪をひきました 病気で 忙しいです 休みます) ■文字(3グループに分かれて)	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
2	平成27年10月17日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	6人	VII- 14-(31) 人と関わる III- 消費活動を行う ◎ファーストフード店で注文ができる	■語彙 月・日・曜日・誕生日 ひとつ～とお ■ファーストフード店での注文「～を～つ、お願いします」 ■文字(3グループに分かれて)	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
3	平成27年10月24日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	VII-14(31) 人と関わる III- 消費活動を行う ◎ファーストフード店で注文ができる ◎場所を尋ねることができる	■語彙 ひとつ お願いします 持ち帰り 単品 セット ■表現 『すみません ～はどこですか(何階ですか)ありがとうございます』 無印 薬 100円ショップ コーヒーショップ ユニクロ ■外出して実践(ファーストフード店・駅ビル) ■一日の行動の振り返り	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人

4	平成27年10月31日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	VIII 社会の一員となる・ 15 社会のルール・マナーを守る I 健康を保つ (02)薬を利用する ◎ドラッグストアに行こう！	■シャドーイング開始(起きる 食べる 寝る) ■語彙 体の部位(頭、目、鼻、口、歯、耳、お腹、手、足、のど) 症状の言い方 (～が痛いです。(くしゃみ、せき、鼻水)が出ますなど) 薬の種類(錠剤 カプセル 粉薬 塗り薬 目薬 座薬 湿布)・病院の語彙(受付、保険証など) ■薬の漢字 『頭痛』『腹痛』『歯痛』『生理痛』など ■ドラッグストアの見学	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
5	平成27年11月7日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	3人	I 健康・安全に暮らす 01-健康を保つ(01)医療機関で治療を受ける ◎病院も大丈夫！	■シャドーイング(動詞)*形の説明 ■文字(2つのグループに分かれて) ■語彙(復習)体の部位の名前と症状の言い方・医者への指示ことば(口をあけて、息を吸って など)	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
6	平成27年11月14日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	I 健康・安全に暮らす (01)医療機関で治療を受ける VIII 社会のルール・マナーを守る	■シャドーイング(動詞) ■文字 漢字開始 ■語彙 病院の検査の表現、症状を伝える練習 ■「～ないでください」の言い方・町でみかけるNGサイン	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
7	平成27年11月21日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	I 健康・安全に暮らす02 安全を守る(05)災害に備え、対応する IV 目的地に移動する 08(12)徒歩で移動する ◎災害に備えよう！	■シャドーイング(動詞)活用表を見してみる ■文字(2グループに分かれて)漢字 ■語彙 災害のことば・防災袋の中身の言葉・「～てください」「～ないでください」・緊急のことば	ディラン恵子	羽毛田恵美(保育) ※ボランティア1人
8	平成27年11月28日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	I 健康 安全に暮らす 02 安全を守る (05)地震、火事に備え、対応する IV 目的地に移動する 07交通機関を利用する 08自力で移動する(12) 徒歩で移動する ◎防災センターに行こう！	■各自移動 ■災害映画の視聴・消火訓練、煙体験、地震体験(必要に応じてビルマ語・アラビア語通訳あり)	ディラン恵子	高梨玲依 LIA CING LAM MANG 草野むつみ ※ボランティア1人
9	平成27年12月5日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	6人	I 健康・安全に暮らす 01 (05)災害にそなえ、対応する(地震) VIII 人と関わる 14 他者との関係を円滑にする ◎「簡単な一言」を使ってみよう！	■シャドーイング ■文字(2つのグループに分かれて) ■『ひとこと会話集』配付 練習・ロールプレイ ■簡単な形容詞+作文	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
	平成27年12月5日(土) 13:00-14:00	1	さぼうと21会議室	1人	ヒアリングの実施			矢崎理恵 草野むつみ
10	平成27年12月12日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	VII-14-(31) 他者との関係を円滑にする 人とつきあう ◎自分の気持ちを伝えよう！	■シャドーイング(動詞)+「～たことがありますか」 ■文字(漢字) ■語彙 気持ちを表す言葉(楽しい、悲しいなど) ■お便りを読む(回答する)	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
11	平成27年12月19日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	3人	IX 自身を豊かにする 20(44)余暇を楽しむ ◎年賀状を書いてみよう！ ◎ティータイムを楽しもう！	■シャドーイング(動詞) ■既習の漢字を使った文章を読む ■炊飯器ケーキを作ってみる ■語彙 ティータイムの時の表現『8つに切ってください』『クリームを塗ってください』など ■年末年始の過ごし方(多読シリーズ利用) ■年賀状書き・切り絵	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人
12	平成28年1月9日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	VII 人と関わる 14-31 ◎日本の味に挑戦しよう！ ◎お正月について話そう！	■おせち料理の味見・意味を知る ■シャドーイング(動詞) ■文字(2つのグループに分かれて)漢字 ■お正月・冬休みのことをあれこれ話す	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1人

13	平成28年1月16日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	Ⅲ 消費活動を行う 05 物 品購入・サービスを利用 する ◎日本の味に挑戦しよう! ◎必要な食材を買う	■文字(漢字4課) ■来週の料理について説明を聞 く・会計を決める ■食材の買い物に行く	ディラン恵子	高梨玲依 植木千津 ※ボランティア1 人
14	平成28年1月23日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	5人	VII 人と関わる 14 他者 との関係を円滑にする (31)人につきあう ◎日本の味に挑戦しよう! 料理の指導をよく聞 き、皆で協力して日本料 理を作る ◎食事をしながらおしゃ べりを楽しむ	■食材の名前を書く ■調理をする・具の名前を確認し ながら、並べる ■味見しながら試食 ■自国の料理を説明する	ディラン恵子	高梨玲依 植木千津 ENEZAN BARAA ※ボランティア1 人
15	平成28年1月30日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	VIII-15-(34) 地域・社会 のルール・マナーを守る 住民としてのマナーを守る ◎日本の味に挑戦しよう! ◎ごみについて学ぶ	■シャドーイング(動詞) ■文字(2つのグループに分かれ て)漢字 ■『ごみ』について学習・ごみを正 しく捨ててみる ■レシピの完成	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1 人
16	平成28年2月6日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	VII 人と関わる 14他者 との関係を円滑にする ◎日本人とのおしゃべり タイム ◎スピーチの準備	■シャドーイング(動詞) ■おしゃべりタイムの準備 ■語彙 形容詞の復習(漢字を 使って) 形容詞 絵プリントをもと に形容詞を既習の漢字を使って書 き込む ■修了式の時のスピーチの準備	ディラン恵子	※ボランティア2 人
17	平成28年2月13日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	3人	VII 人と関わる VIII 社会 の一員となる 社会の ルール・マナーを守る ◎電車に乗ろう!	■シャドーイング(動詞)動詞の過 去形、非過去形・作文 ■文字(漢字 ■語彙 駅内外、車内のことば(改 札口、優先席、白線など)・電車や 駅でよく使う表現(『～は何番線 ですか』など)・車内放送 ■修了式のスピーチ(漢字を使って 清書)	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1 人
18	平成28年2月20日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	3人	VII 人と関わる 14 他 者との関係を円滑にする (31)人につきあう ◎日本人とのおしゃべり タイム	■シャドーイング(動詞) ■文字(2つのグループに分かれ て)漢字 ■おしゃべりタイム ■『おしゃべりタイム』の振り返りを 日本語で話す	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1 人
19	平成28年2月27日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	VIII- 15 -(34) 地域・社会 のルール・マナーを守る ◎いろいろなサインを知 ろう! ◎修了式の練習	■シャドーイング(動詞) ■文字(2つに分かれて)漢字 ■町で見かけるいろいろなサイン、 洗濯標示、日本人のしぐさ、身振 り、手振りなどを学び、自国につい ても話をする ■修了式の分担 ■『ブチ茶道』を体験	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1 人
20	平成28年3月5日(土) 13:00-16:10	3	にほんごタウン	4人	VII 人と関わる ◎ 修了式に参加しよ う!	■文字(2つに分かれて)漢字 ■修了式出席 ■持ち寄りでティータイム ■修了文集を読む	ディラン恵子	高梨玲依 ※ボランティア1 人
	平成28年3月12日(土) 13:00-16:10	3	さぼうと21会 議室	4人	ヒアリングの実施	これまでの授業の振り返り・困っ ていること・学習したい事等をグル ープヒアリング		矢崎理恵 通訳:リア チン ラム マン

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第13回 平成28年1月16日】

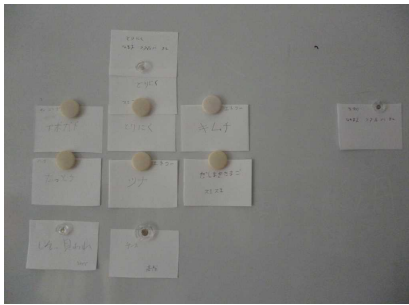
【目標】

Ⅲ 消費活動を行う 05 物品購入・サービスを利用する

- ◎ 手巻き寿司とみそ汁がわかる
- ◎ 手巻き寿司の具について学び、自分の好きな具を決める
- ◎ 買い物に行き、必要な食材を買うことができる
- ◎ 疑問詞を使った質問ができる(来週の料理について指導者に尋ねる)

【流れ】

- 1 文字学習から開始 (2つに分かれて学習・1グループは漢字、もう1グループはひらがなやカタカナの分を読む練習)
- 2 「日本の味に挑戦しよう! =トライ、日本の味」で作る予定の手巻きずしやみそ汁を写真や実物を使いながら理解する
- 3 手巻きずしの具材を各自決めてカードに書く
- 4 会計を決める。予算内で作れるかどうか、皆で確認。
- 5 スーパーに出向いて、質問をしながら食材を購入
- 6 疑問詞を使いながら、来週の料理について質問をし、答えを確認する



取組事例②

【第14回 平成28年1月23日】

【目標】Ⅶ 人と関わる 14 他者との関係を円滑にする(31)人とつきあう

- ◎ 料理の指導をよく聞き、皆で協力して日本料理を作る
- ◎ わからないことや食材についての質問ができる
- ◎ 皆で食事をしながらおしゃべりを楽しむことができる

【流れ】

- 1 食材を並べてひとつずつ食材の名前を添えてもらう
- 2 ホワイトボードに書かれた料理の手順を確認しながら、みそ汁の準備を始める
出しの説明を聞き、みそ汁を作り始める
- 3 手巻き寿司の準備をする
具の名前を確認しながら大皿に並べていく
- 4 みそ汁を味見して感想を述べる
- 5 手巻き寿司の食べ方を学び、手巻き寿司とみそ汁を試食する
- 6 試食をしながら、自国の料理や食材についても話す
- 7 受講者からの要望があり、おにぎりのにぎり方も学ぶ
- 8 皆で片付け
- 9 手巻き寿司とみそ汁実習のまとめプリントで確認。
- 10 各自「マイレシピー」を書き始める⇒翌週、皆で共有



(9) 目標の達成状況・成果

・①12月および講座修了時に実施した個別ヒアリング(ビルマ語の通訳あり)での聞き取り、②振り返りシートでのアンケート結果、③文化庁から依頼のアンケート結果、④指導者、指導補助者、コーディネーターの観察により目標の達成状況・成果を検証する。

・まず、本講座の目的であった「日常生活において最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行える(または、行えるという意識がもてる)ようになること。各人が日本社会の一員としての意識を高め、日々の生活の豊かさを求める姿勢がもてるようになること」については、「十分に達成された」と判断する。

どの受講者も日を迫うにつれて日本語学習に対してより積極的に取り組んでいた。1人の受講者は、前期も受講していたが、自分より日本語に困難を抱える受講者と共に学ぶ中で、「先輩」として他の受講者の学習を支える立場になっている姿が印象的であった。

①、②、③でも、全員が自身の力の伸びを実感していると述べている。

・「ボランティアで参加する日本人住民が外国人住民への理解を深め、コミュニケーション力を向上させ、外国人住民と共に暮らす日常を楽しめるようになること」についても、「十分に達成された」と判断する。

(10) 今後の改善点について

・受講者は配布プリントが非常に役に立つと言いながら、ファイリングがうまくできていないため、復習が効果的に行えない。この部分の改善を図っていきたい。

・「文法」について、どのように授業内に盛り込んでいけるかの検討が必要である

・「茶道体験」は受講者からの評価が高かった学習内容である。「生活者向けの日本語講座」ということで、「生活面」の日本語指導を優先しているが、せっかくの「日本文化」への関心は日本社会をより深く理解するきっかけともなるもので、今後の学習内容の検討事項に加えたい

【日本語教育(ワークショップ)】

(1) 活動名称

生活力向上のためのワークショップ ～「健康」、「生活知識」、「防災」をテーマに

(2) 目的・目標

・日本語ができない外国人住民も、生活上必要な情報を知り、生活力向上のためのスキルを身につける
・日本語レベルが高く、情報発信力のある外国人住民に、ワークショップの準備段階から企画・運営に関わってもらい、様々な知識やスキルを彼ら自身に得てもらうことで、それぞれのコミュニティに必要な情報が拡散していくようにする

(3) 対象者

東京近郊に在住する難民、ボランティア(主に日本人)

(4) 使用した教材・リソース

ワークショップの担当指導者が作成したオリジナル教材や、団体が所持しているチラシやパンフレット
※「ワーカーズ・コレクティブ 生活クラブFPの会」の方がご担当した回の資料は、教材化した。詳細については、“7. 日本語教育のための学習教材の作成”をご参照ください。

(5) 参加者の総数 47 人

(出身・国籍別内訳 ミャンマー37人 日本5人 その他5人)

(6) 開催時間数(回数) 16 時間(全10回)※1.5時間/回(全8回) + 2時間/回(全2回)

(7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月2日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	21名 ミャンマー (17名) 日本(4名)	I-02 安全を守る/災害に備え、 対応する ■タイトル:防災①	1 避難所について学ぶ 2 HUG(Hinanjyo Unei Game 避難所 運営ゲーム)の実施 ※避難所の運営を体験してみる 3 自宅近くの避難所の調べ方につい て	長島 みどり (さぼうと21)	(ビルマ語通訳) LIA CING LAM MANG
2	平成27年6月6日 12:00-14:00	2時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	20名 ミャンマー (19名) 日本(1名)	VII-15 地域・社会のルール・マナー を守る/住民としての手続を する ■タイトル: 知っておきたい日本の税金	1 税金について(種類と使われ方) 2 税金の納め方ー消費税、所得税、 住民税 3 源泉徴収、確定申告について 4 源泉徴収票の見方 5 マイナンバー制度について	羽場 真美 (ファイナンシャ ルプランナー)	(ビルマ語通訳) LASHI ROI SAN
3	平成27年7月4日 12:00-14:00	2時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	19名 ミャンマー (15名) 日本(4名)	III-06 お金を管理する ■タイトル: 知っておきたいわが家の教 育費	1 教育にかかるお金の概観 (小・中・高、国公立・私立) 2 教育イベント表を作成しよう 3 小学生・中学生への支援 4 高校生への支援 5 教育資金をためるには (積み立てや保険) 6 教育資金が不足したら (教育ローン、奨学金)	羽場 真美 (ファイナンシャ ルプランナー)	(ビルマ語通訳) LASHI ROI SAN
4	平成27年8月1日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	11名 ミャンマー (9名) 日本(2名)	III-06 お金を管理する ■タイトル: 高校への進学	1 日本の学校制度 2 色々な高校 3 私立・公立の学費 4 受験制度 5 受験の準備 6 各種奨学金制度	矢崎 理恵 (さぼうと21)	(ビルマ語通訳) LASHI ROI SAN
5	平成27年9月5日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	14名 ミャンマー (13名) 日本(1名)	I-01 健康を保つ/健康に気を付 ける ■タイトル: 歯の健康	1 検診を受けよう (むし歯、歯石、歯周病のチェック) 2 歯肉の健康をチェックしよう 3 お口の健康と体全体の健康との関 係 4 家庭でのケア方法 (歯磨きの方法、歯ブラシの選び方) 5 歯医者でよく聞く言葉 (歯周病、歯石、インプラント、 ブリッジ、矯正、定期検診)	丸山 進一郎 (品川歯科医師 会)	(ビルマ語通訳) LIA CING LAM MANG
6	平成27年10月17 日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	18名 ミャンマー (17名) その他(1名)	I-01 健康を保つ/健康に気を付 ける ■タイトル: 眼の健康	1 目のしくみ 2 緑内障 3 糖尿病網膜症 4 網膜色素変性症 5 加齢黄斑変性症 6 Q&A(事前アンケートへの回答)	佐野 研二 (あずみが丘佐 野眼科)	(ビルマ語通訳) MA LIA MANG CHIN KHAI

7	平成27年11月7日 12:00-14:00	2時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	14名 ミャンマー (12名) 日本(1名) その他(1名)	VII-15 地域・社会のルール・マナー を守る／住民としての手続を する ■タイトル: 知っておきたい確定申告	1 納税の義務 2 確定申告とは ～納税、還付につい て 3 私は確定申告をする？しない？ 4 確定申告をしてみよう！	羽場 真美 (ファイナンシャ ルプランナー)	(ビルマ語通訳) LASHI ROI SAN
8	平成27年12月5日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	28名 ミャンマー (25名) 日本(2名) その他(1名)	VII-15 地域・社会のルール・マナー を守る／住民としての手続を する ■タイトル: マイナンバー制度	1 役所からの封筒について 2 マイナンバーとは？ 3 ・個人番号カードとは？ ・個人番号取得方法について 4 よくある質問	小野 慎太郎、 横田 剛 (品川区 企画 部 情報推進 課 番号制度担当)	(ビルマ語通訳) MA LIA MANG CHIN KHAI
9	平成28年2月6日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	33名 ミャンマー (22名) 日本(11名)	I-02 安全を守る／災害に備え、 対応する ■タイトル:防災②	1 防災について 2 地震時、家の中で気をつけること 3 地震時、外で気をつけること 4 街歩き ～さばうとで被災した場合 の 「避難所」、「避難場所」の確認、街 の 中で気をつけることの確認	平松 瑠弥 (品川区 防災 まちづくり部 防災課担当)	(ビルマ語通訳) LIA CING LAM MANG
10	平成28年3月12日 12:00-13:30	1.5時間	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	46名 ミャンマー (33名) 日本(9名) その他の国 籍(4名)	I-02 安全を守る／災害に備え、 対応する ■タイトル: 地震ITSUMO講座 (防災③)	1 地震が発生するしくみの説明 2 自助／共助の重要性 3 家具転倒防止器具の説明 4 家庭備蓄用防災グッズの説明 5 食料一週間備蓄のコツ	小倉 丈佳 (NPO法人 プラ ス・アーツ)	(ビルマ語通訳) LIA CING LAM MANG

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

■ 第3回ワークショップ 2015年7月4日(土) 12:00-14:00 認定NPO法人 難民を助ける会会議スペースにて

【テーマ】 知っておきたいわが家の教育費

【担当】 講師: 羽場 真美(ワークス・コレティブ 生活クラブFPの会) ビルマ語通訳: ラッシー ロイ サン

【参加者】 19名(ミャンマー15名 日本人4名)

【講座開催にあたっての背景】

学齢期の子どもをもつ親が増え、教育費に関する相談や不安の声を多数聞くようになったため。

【内容】

●教育にかかるお金について

小学校・中学校・高校、国公立・私立への進学にかかる費用

●教育イベント表を作成しよう

教育費が「いつ」「いくら」かかるかを調べる

●小学生・中学生・高校生への支援

就学援助制度、高等学校等就学支援、東京都高等学校等奨学のための給付金制度など

●教育資金をためるには

積み立てや、保険(子ども保険、学資保険)など

●教育資金が不足したら

教育ローンや、奨学金など



取組事例②

■ 第8回ワークショップ 2015年12月5日(土) 12:00-13:30 認定NPO法人 難民を助ける会会議スペースにて

【テーマ】 マイナンバー制度

【担当】 講師: 小野 慎太郎、横田 剛(品川区 企画部 情報推進課 番号制度担当)

ビルマ語通訳: マリア マン チン カイ

【参加者】 28名(ミャンマー25名 日本2名 その他1名)

【講座開催にあたっての背景】

マイナンバー制度の導入、マイナンバーの通知開始にあたり、一部の情報が誤って認識されていたり、制度の理解不足による不安の声が多数聞かれるようになったため。

【内容】

●役所から届いた封筒について

同封されていた各種書類の説明: 通知カード、個人番号カード交付申請書、説明用パンフレット、個人番号カード交付申請書の返信用封筒

●マイナンバーとは?

マイナンバーとは何か、どういうことに使うようになるかの説明

●個人番号カードとは?

個人番号カードとは何か、持っていることのメリット、取得方法について

※個人番号カードの申請は義務ではないことを、はっきりと説明した上で上記について話した

●よくある質問

よく聞かれる質問について説明し、その他の質問を受け付けた



取組事例③

■ 第10回ワークショップ 2016年3月12日(土) 12:00-13:30 認定NPO法人 難民を助ける会会議スペースにて

【テーマ】 防災

【担当】 講師：小倉 丈佳(NPO法人 プラス・アーツ) ビルマ語通訳：リア チン ラム マン

【参加者】 46名(ミャンマー33名 日本9名 その他4名)

【講座開催にあたっての背景】

東日本大震災から5年が経ち、改めて防災の意識を高め、日頃から「家庭できる備え」の必要性を知る必要があると感じたため

【内容】

●地震が発生するしくみ

●自助、共助の重要性

●家具転倒防止器具の説明

各家具(タンス、食器棚、本棚)、液晶テレビ、照明、窓ガラス対応の防災器具の紹介

●家庭備蓄用防災グッズの説明

お役立ちグッズ10選(LEDランタン、口腔ケア用ウェットティッシュ、災害用トイレ、カセットコンロ・ボンベ、非常食、水、ポリ袋、新聞紙、からだふきウェットタオル、ラップ)の機能を紹介

●食料一週間備蓄のコツ

ローリングストック法など



(9) 目標の達成状況・成果

●各回のワークショップ後に参加者に対して行ったアンケートならびにヒアリングの結果、講師とコーディネーターの観察により達成状況・成果を判断する。

本講座の目的・目標として掲げた以下2点について達成状況・成果を述べる。

1. 日本語ができない外国人住民も、生活上必要な情報を知り、生活力向上のためのスキルを身につける

昨年度、ワークショップ参加者から大変好評だった「健康」、「生活知識」、「防災」をテーマに今年も実施した。ワークショップでは受講者の多くがミャンマー出身であることを考慮し、ビルマ語通訳を毎回配備した。通訳を準備したため、日本語ができない外国人住民の積極的な参加も促した。また母語で説明を聞けるため正しい理解の促進が実現できた。今年の特徴として、参加者が固定化してきている点、また参加率の高い方の紹介により外部からの受講者が増えてきている点を挙げる事ができる。各テーマにおける特徴的な場面は上記をご参照いただきたい。

参加者に対して実施したアンケート結果では毎回高評価を得た。また通訳者への個別のヒアリングからも受講者(外国人住民)の安定した理解度を知ることができ、生活上必要な情報を伝えるという点で目標を達成できた。と考える。

2. 日本語レベルが高く、情報発信力のある外国人住民に、ワークショップの準備段階から企画・運営に関わってもらい、様々な知識を彼ら自身に得てもらうことで、それぞれのコミュニティに必要な情報が拡散していくようにする

通訳の担当者にはほとんどの回にて、準備段階から企画・運営に携わってもらうことができた。企画・運営に初めから携わってもらうことで、テーマに対する知識・関心が高まり、通訳者自身の理解も深められたようだ。「私も勉強になった。何か聞かれたら正しく答えられると思う。」という感想を聞いたことは、今回の目標が多少なりとも達成できたことを示している。と考える。

設定した上記目標以外にも特徴的な成果として、様々な専門家との連携が実施できたことは大きな成果だった。と考える。当法人が所在する品川区役所の各部署や、品川歯科医師会の歯科医、眼科医、NPO法人プラス・アーツは、今回新たに繋がりを持つことができた法人である。また、昨年度から関わりのある生活クラブFPの会とはさらに連携を深め、教材作成にもご協力いただいている。今後も様々な団体と連携・協働を図っていききたい。と考える。

(10) 今後の改善点について

ワークショップを実施していく中で、特に下記の改善点について、今後の活動に活かしていきたい

・多言語でのワークショップの開催

今年一年のワークショップ実施から見られる傾向として、ワークショップの定期的な開催、周知度の高まり、参加者による口コミでの広がり等から、ミャンマー出身の方に限らず、ベトナムやアフリカ圏出身の方の参加も見られるようになった。すべての回でビルマ語通訳を配備したが、上記傾向を踏まえて、今後は他の言語でも別日程にて実施する必要がある。と考える。日本での生活をする上で、知っておいて欲しい情報については、英語やフランス語のワークショップを設けることも来年度は検討していきたい。

7. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

日本語教室ボランティアのためのパワーアップ研修～スキルアップ編～

(2) 目的・目標

地域日本語教室で活動するボランティアが、「生活者としての外国人」や「日本語教育支援のあり方」について理解を深め、日本語教育支援のスキルを高めることにより、各人が所属する日本語教室の日々の活動を活性化する意識とスキルをもてるようになることをねらいとしている。
今回は、「読むこと」をテーマに、「読み教材」を「知る」「使う」「創る」という3つの活動を柱に進め、まとめとして実際に「読む」活動に挑戦した。

(3) 対象者

地域日本語教室でボランティアとして活動している人、または活動に関心がある人

(4) 使用した教材・リソース

・講師作成のオリジナル資料
・『初級で読めるトピック25』(スリーエーネットワーク)
・『日本文化を読む』(アルク)
・『NEJ』(くろしお出版)
・『日本語多読ライブラリー』(アスク)
・『日本語読み書きのたね』(スリーエーネットワーク)
・『楽しいよみもの55』(アルク)
・『日本語を楽しく読む本 中級』(凡人社)
・『トピックによる日本語総合演習』(スリーエーネットワーク)
・『読解授業のつくり方』(アルク)
・『中上級のにほんご』(創作集団にほんご)
・NHKニュースWEB EASY

(5) 受講者の総数 26 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	26人	

(6) 開催時間数(回数) 20 時間 (全 8 回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成27年 10月18日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	22人	教材を知る①	1. 在日外国人について 2. 教材分析(形態、内容、特徴) 3. 読みの活動の目的	岩田一成	—
2	平成27年 10月25日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	19人	教材を知る②	1. 「やさしい日本語」について 2. 文章の難易度を測る指標 3. ニーズに合わせた生教材の使用	岩田一成	—
3	平成27年 11月15日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	24人	教材を使う①	1. 「読む」という行為について ①読み方の例 ②「理解する」とは ③「読める」ようにするには 2. 「読む」活動の進め方 ①目的 ②基本的な流れ	奥原淳子	—
4	平成27年 11月29日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	23人	教材を使う②	1. 中上級の読む活動 ①初級との違い ②基本的な流れ 2. 教材例	奥原淳子	—
5	平成27年 12月13日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	17人	教材を創る①	1. 教材作成上の注意点 (テーマ、語彙、ルビ、書体) 2. 教材の料理の仕方	浅野陽子	—
6	平成27年 12月20日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける会 会議スペース	24人	教材を創る②	リライト ①学習者にとってわかりやすい文章 ②リライトに挑戦	浅野陽子	—

7	平成27年 1月17日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける 会 会議ス ペース	16人	「読む」活動を創る①	1. 情報交換会 2. 活動を創る ・グループで教案、教材作成	長崎清美	—
8	平成27年 1月24日 13:00-15:40	2.5	認定NPO法人 難民を助ける 会 会議ス ペース	15人	「読む」活動を創る②	1. 「読む」活動の実践 ・実践と見学 ・ふりかえり ・実践共有 2. 講座全体のふりかえり	長崎清美	LIA CING LAM MANG LIA THANG LAM CING MA LIA MANG CHIN KHA チヨ ヒョン ソク シム モン セン クリストファー

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

■第1回 講座日時:平成27年10月18日(日)13:00-15:40 【参加者】22名

講座テーマ:教材を知る①

【講師】岩田一成

□前半13:10-14:30 講座:在住外国人データ

<ねらい> 在住外国人に関する基礎データを知ること、学習者の置かれている状況を理解する。

<進め方> * 受講者は6つのグループ(各グループ4～5名)に分かれて着席。

* PPT・ホワイトボード使用。

* O×形式で質問を出して、チームごとに回答を考える。

<内容>

質問1 日本にいる外国人にとって理解可能な言語は、1、英語 2、中国語 3、日本語 の順である。

質問2 外国人住民で子育て世代はほとんどいない。

質問3 母国で日本語を学ばずに来日する人は過半数に達する。

質問4 日本語を全く話せない人よりも全く読めない人のほうが倍以上多い。

□後半14:40-15:40 読解教材分析

<ねらい> 市販されている教材を手にとって、どういう教材があるのか知ってもらう。

<内容> 6種類の教材を各グループに1冊ずつ渡して、時間が来たら次のグループに教材を回すという活動を行った。全教材が回るまで6ターン続けた。

・分析対象教材

・分析の視点

初級で読めるトピック25 スリーエーネットワーク
日本文化を読む アルク
NEJ くろしお出版
レベル別 日本語多読ライブラリー アスク
日本語読み書きのたね スリーエーネットワーク

① 形態 (読むだけ・読みもの+活動(内容確認問題など))
② どういう文章を扱っているか (生教材[作家などが書いた文章]・生活に役立つ文章・語彙がコントロールされた文章・文法がコントロールされた文章・自分のことを伝えるための文章・その他)

□15:35-15:40 アンケート

<所感>

各グループ非常に熱心に取り組んでいた。普段、教材をじっくりと読むことがないようで、どの教材についても新鮮な反応を示していた。6冊全部回すのは、時間的に少し厳しかった。



取組事例②

■第8回 講座日時:平成28年1月24日(日)13:00-15:40 【参加者】15名

講座テーマ:「読む」活動を創る②

【講師】長崎清美

＜内容＞前回の講座で準備した授業の流れ(教案)に沿って実習を行う。

- ・参加者全員を4グループに分け、1グループは2人から4人で構成されるようにした。
- ・各グループに学習者として外国人参加者が2名～3名参加した。
- ・実習の読み物テーマは二つ、「消したいもの」(『初級で読めるトピック25』)と「3歳児の7%が睡眠不足」(NEWS WEB EASY)。
- ・グループ内、グループ間で振り返りの時間を長めに設定した。
- ・KPT法を用いて、意見交換を行った。

外国人参加者のコメントを少し紹介する

○Keep(とてもよかったと感じたこと・今後も続けたいこと)

読んだ後のフィードバック

語彙の説明

間がいい、リズムがいい

○Problem(問題があり、解決したいこと・気をつけたいこと)

問題文に妥当な答えがなかった

導入が突然で、戸惑いがあった

学習者にも体験談を語らせてほしかった

○Try

問題文の準備をもっとしっかりする

教案をしっかりたてる

＜所感＞

ボランティア教室は、実際に教案を立てて自作教材を作ってまで実施しているところがたくさんあるとは思えない。ただし、今回のようにしっかりと準備した読解授業を一度じっくりやってみるということは、いろいろ学びがあるはずである。参加者が若干減ってしまっているが、最後まで参加した方は大きな満足感を得ている。最後の質問時間にも、多読や音読の効果に関する質問が出るなど、読解という作業を見直すいい機会になったのではないと思う。



(9) 目標の達成状況・成果

アンケートにより、各回および全体を通しての満足度や意見を聴き、目標の達成状況と成果を確認した。結果は以下の通りである。

回	大変有意義だった	有意義だった	あまり 有意義でなかった	全く 有意義でなかった
1	63.6	36.4	0	0
2	88.9	11.1	0	0
3	62.5	37.5	0	0
4	59.1	40.9	0	0
5	52.9	47.1	0	0
6	60.9	34.8	4.3	0
7	63.6	36.4	0	0
8	60.0	40.0	0	0
全体	50.0	50.0	0	0

(単位：%)

アンケート結果から、講座に対する満足度も高く、学びも多かった様子がうかがえる。このことから講座の目標は概ね達成できたと考える。以下、アンケートの記述箇所を踏まえ、本講座を振り返りたい。

本講座のテーマである「読み教材を知り、使い、創る」についてだが、これを取り上げた意義は大きかったと考える。講座開始当初、受講者からは「読むことは重要であり、ボランティアの現場でも実践している。ただ、どう進めたらいいのか迷いや戸惑いも大きい」、「読むことを活動に取り入れていきたいが、基本的には文法や会話を中心に進めている」といった声が聞かれ、マンネリ化した指導法に終始したり、必要性を感じながらも読む活動はしていないという姿が散見された。しかし、講座後には、教材の種類やその作成意図、読む活動の意味や進め方、目の前の学習者に合わせて文章をやさしくする/リライトするという考え方やその方法を学んだことで、「読むことの大切さを学んだ」「読むことを活動に取り入れたい」という前向きな感想が多数寄せられた。教材や指導方法は受講者の日々の支援に直結するだけに、達成感も大きかったのではないかと考える。以下にアンケートの一部を記す。

全体

- ・「読む」ことの大切さを再認識できた。外国人の方にとって「読む」ことはライフラインの一つだと実感できたり、「読んで」得た情報からコミュニケーションが生まれ、違う考えを知る楽しさを知ることができた。
- ・テキストをいろんな視点から見ることができた。知らないテキストもあり、今後使ってみようと思った。
- ・日本語を読むということをどのように教えるか？はこれまでまったく意識してこなかったもので、教材の選定やリライトの考え方など本当に勉強になりました。
- ・日本語を教えるというと、イメージとしては会話が多いのかなと思っていました。読むことをこれだけ長く時間をかけて学べたことは良かったです。

教材

- ・実際の教材を手に取り、その特徴や違いを実感できました。
 - ・教材の比較をじっくりしたのは初めてでした。本作者の意図をくみ取るのはやはりよく見ることでですね。
- ### やさしい日本語
- ・生活者としての外国人が気軽に手紙や文を持ってきてくれ、それに対応できるボランティアが外国人にとって一番役に立つ。
 - ・どうしても相手(学習者)と話すことに慣れてくると、やさしい言葉で話すことをわすれがちになってしまいます。初心を取り戻してやっていきたいです。

読みの活動

- ・「読む」ことが単に言葉をなぞるだけでなく、その背景や情報をつたえていくことで理解が違っていくことを体得できました。
- ・読み手によって解釈も違うので「読む前」の作業について興味深かった。

教材を創る/リライト

- ・教材を基に、その発展の仕方がよくわかりました。wordの使い方も参考になりました。
- ・トピックの選び方で、いろいろな展開ができることが興味深かった。
- ・実際にやさしい日本語を自分で考え書くことの難しさを体験させていただきました。辞書を引かず考えること、難しいです。
- ・「リライト」を書いたのは初めてでした。わかりやすい言葉を選んだり、説明を工夫したり、普段使わない脳ミソをたくさん動かせた気がします。

活動案創り/実践

- ・経験者の方々の話が役に立った。テーブルの共同作業で色々と話が聞けたのが良かった。
- ・グループで考えを出しあうことにより、アイディアがアイディアを生む相乗効果があって楽しくできた。
- ・実際に実習する内容をグループで話し合いながら工夫しながら進められた。その過程で学ぶことも多かったです。
- ・実践で解ることが多かった。また、他の人のやっているのを見て色々勉強になりました。
- ・普段は経験することのないグループ学習でのいろいろなやり方を見ることができた。

(10) 今後の改善点について

①出席率の改善

講座のまとめとして位置付けた第7・8回の「読む活動を創る」の出席率は64%、60%で、他の回と比べて明らかに低くなった。講座を総括する回でもあったので、欠席者が多かったのは非常に残念であった。欠席理由ははっきりしないものの、当該の「授業案を創り上げ実践する」という活動が、一部の受講者にとってハードルが高かったのかもしれない。受講者の支援経験や言語指導の経験には多寡はあるが、受講者が出席したい/出席できると思える内容を提供していくことが肝要である。

改善策としては、1)経験のない/浅い受講者のことを考え、より基本的かつ具体的な練習の機会を提供する。〈例:授業実践に際し「語彙表を作る」という作業があったが、どの語彙を選ぶか、対訳はつけるか、つけるならどんな言語とするか、語彙表はどう活用するか、語彙をどう説明するか/しないか、といったことから練習する、 2)「読む活動を創る」という活動を2回行い、実践して得た学びが生かせる機会を設ける、 3)実践そのものを、今回のような「指導案の作成→資料の作成→実践」といった負担の重いものでなく、当日の時間内で実施できるような緩い形のものとする、4)講座自体の枠を増やす、などが考えられる。

②実施会場について

今回の実施会場は主催者である「さぼうと21」であった。貸し会場とは異なり、備品を準備し持ち込むといった面倒な作業も要らず、必要に応じてパソコンやコピーも利用できたので、大変利便性が高かった。受講の機会をより広範に提供するという意図もあり、前回はお茶の水駅付近を会場としたが、結果的には受講者の地域性に大きな差はなかったようだ。実施会場は、講座で何ができるかといったことにまで影響しかねないので、種々の状況を十分勘案し決めていく必要がある。

上記の改善点を次回に生かし、より充実した事業を展開していきたい。

(1) 講座名称

日本語教室ボランティアのためのパワーアップ研修～理解を深める講座編～

(2) 目的・目標

地域日本語教室で活動するボランティアが、「生活者としての外国人」について理解を深めること。自らの教室活動を、多文化共生・ダイバーシティの視点からとらえ直し、日々の活動の振り返りや改善を意識できるようになること。

(3) 対象者

地域日本語教室でボランティアとして活動している人、または活動に関心がある人

(4) 使用した教材・リソース

講師作成のオリジナル資料

(5) 受講者の総数 26 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	52人	

(6) 開催時間数(回数) 6 時間 (全 1 回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成28年 2月28日 10:00-17:00	6時間	認定NPO 法人難民を 助ける会会 議スペース	52人 日本(52 名)	難民について	1 条約難民のこと 2 Resettlementとは？ 3 インドシナ難民受け入れから 学んだこと	大原 晋 明石 純一 大森 邦子 条約難民2 人 インドシナ 難民2人	矢崎理恵(一 部) 松田 裕子 筒井 伸子

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

■講座日時:平成28年2月28日(日)10:00-17:00 【参加者】52名

■講座タイトル:一市民として学び、考える「難民」のこと～当事者の言葉を紡ぎながら～

■進行

- 10:00～11:00 基礎講座「条約難民のこと」大原晋氏による講義
 11:00～12:30 * 条約難民当事者2名からの発信(フランス語、英語の通訳あり)
 13:15～14:00 基礎講座「Resettlementとは？」明石純一氏による「再定住の世界的動向」
 14:00～15:00 基礎講座「インドシナ難民受け入れから学んだこと」大森邦子氏による講義(支援者の立場から)
 15:15～16:45 * インドシナ難民当事者2名からの発信
 16:45～17:00 振り返り 明石純一氏、大森邦子氏
 * アンケート記入

■内容

客観的な情報、支援者の立場からの経験の共有に加えて、難民として日本に在住する方々4名から日本に在住するに至った経緯や経験談を発表していただいた。



(9) 目標の達成状況・成果

アンケートにより、全体を通しての満足度や意見を聴き、目標の達成状況と成果を確認した。

参加者52名中、アンケート協力者は37名。

講義部分については、「大変役立った」24名、「役だった」12名、無回答1名であった。

「当事者からの発信」については、「大変役立った」28名、役だった8名、無回答1名であった。参加者の満足度の高さがうかがえる。

自由記述部分も、講義部分については、「制度ベースの話がちゃんと聞けた」「講師の皆さんの全員の言葉一つ一つが全て貴重でした。名言集ができそうです」「様々な立場の有識者、実務家の方からのお話は理論にとどまらないナマの話でとても勉強になった」など、主催者側の意図が十分に参加者に伝わっていた。

また、「当事者からの発信」については、「社会問題全般に興味があり、あれこれ顔を出してきましたが、本日のイベントは「初体験」という印象です。今日のことは一生忘れないでしょう」「このような機会を設けていただき、ありがとうございました。日本と過去の歴史、国際社会との関係について、とても身近に感じ、今までの生活の中で気付かなかったことや感じていなかったことを考えさせられました」「大変濃密、貴重な内容で、これが無料だということに感動です。助成金の正しい使われ方だ」など、気付きの多い講座だったことがコメントからうかがえる。

目標は十分に達成したと判断する。

(10) 今後の改善点について

①会場確保と開催時期

今回の講座は「難民」に対して注目が集まっている時期ということもあり、広報を始めた時期から申し込みが相次いだ。結果的に、広報開始から間もなく定員に達してしまった。より多くの方に参加していただきたい充実した内容の講座だっただけに、会場の都合から、人数に制限を設けざるをえなかったことは残念であった。

また、実施時期が2月末であったが、この時期は他機関での講座も多い時期で、開催時期をいつにするかも検討が必要である。

②講座対象

これまで、講座の参加者として主に日本語支援者側の日本人住民を想定していた。しかし、今回発表者として来てくださった方々のお話は、同じ外国人住民の方々にとっても学ぶところの多い内容だったのではないかという感想が聞かれた。「生活者としての外国人のための」講座として、普段はあまりつながることのない外国人住民同士もつないでいける講座が開かれないだろうか。今後検討していきたい。

8. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

『にほんごも生活も一歩前進』
A「生活力向上応援BOOK “知っておきたいシリーズ”」
B「体験型初級日本語講座実例集」
C「小さいけれど大切な日本の習慣」

(2) 対象

外国人住民(初級レベル・初中級レベル)・外国人住民の日本語教育支援にあたる方

(3) 目的・目標

■総合教材のトライアル版を作成すること
・日常生活の中で身につけた日本語の力を活かしながら、日本語能力試験N3の学習が始められるような日本語力を習得できる内容の教材を作成すること
・当団体や他団体が作成した様々な教材を有効活用できるような手引書を作成すること

(4) 構成 (総ページ数:74スライド+96ページ, 51ページ, 6ページ)

「日本語力も生活力も向上させる」ことを目標として、3種の教材の作成に着手した。

A 「生活力向上応援BOOK “知っておきたいシリーズ”」

「生活者」である外国人住民が “知っておいた方がよい”、もしくは “知っておくべき” ことがらをとりあげている。

以下の4つのテーマについて作成。それぞれ、生活関連の講座等で利用可能な振り仮名付きのパワーポイント資料と、パワーポイントのスライドにやさしい日本語での解説文をつけた冊子が用意されている。解説文は初中級の読解教材としても利用可能である。

①「知っておきたい日本の年金・医療制度」

(A) パワーポイント資料 計17スライド、(B) 附属解説文 計19ページ

②「知っておきたいわが家の教育費」

(A) パワーポイント資料 計19スライド、(B) 附属解説文 計28ページ、(C) ワーク用資料 計3枚

③「知っておきたい日本の税金 ～所得税、住民税、消費税など～」

(A) パワーポイント資料 計17スライド、(B) 附属解説文 計22ページ

④「知っておきたい確定申告 ～所得税の申告・納税、還付など～」

(A) パワーポイント資料 計21スライド、(B) 附属解説文 計24ページ

※上記①から④の作成にあたり、「ワーカーズ・コレクティブ生活クラブFPの会」の方に多大なるご協力をいただいた。

B 「体験型初級日本語講座実例集」 計51ページ

実際に行った体験型初級日本語講座の授業の流れや利用教材を気軽に実施できるようにテーマごとに「授業の流れ」や「語彙集」、「ワークシート」を備える実例集。「支援者が見るページ」「学習者と一緒に見るページ」「学習者のページ」で構成されている。以下の7つのテーマをとりあげている。今後も内容を精査し、さらに別のテーマの実例集を増やしていく予定である。

①「自己紹介ができる」 計5ページ ②「ごみの出し方がわかる」 計7ページ ③「ファーストフードで注文できる」 計8ページ

④「災害時の言葉がわかる」 計7ページ ⑤「町の禁止サインがわかる」 計5ページ ⑥「病院に一人で行ける」 計7ページ

⑦「薬局で薬が買える」 計12ページ

C 「小さいけれど大切な日本の習慣」 計6ページ

日本で生活するときに、人間関係を円滑にするために知っていると役に立つ様々な習慣をテーマとして作成した「初級読解教材」。以下の3つのテーマをとりあげているが、今後も内容を精査し、イラストや写真を加えて、増やしていく予定である。

①挨拶 計2ページ ②「きちんと」 計2ページ ③色々な履き物 計2ページ

(5) 教材の具体的な活用方法

全ての教材が「生活」をベースに考えられている。

教材Aは、翻訳は付していない。外国人住民向けの生活関連講座で利用したり、自身の関心や必要に応じて自習教材としても利用可能である。日本語部分は日本語能力試験N4もしくはN3程度を想定して作成しており、生活者としての外国人が自身に必要な題材について日本語で学ぶことは、日本語力の向上にもつながるであろう。

教材Bも翻訳は付していない。グループでの「体験型」の日本語学習を想定して作られている。当法人作成の『はじめての500語』(無料公開)をあわせて利用するとよい。

教材Cは読解教材として利用するほかに、「おしゃべりのネタ」として学習者とボランティアの対話を活性化することが可能である。また、フランス語訳が付されており、日本語を読むことのできない外国人住民も利用できる。(翻訳は徐々に増やしていく予定)

(6) 具体的な活用例

●教材A ①～④の具体的な活用法は下記の通りである。

・まず、(A)のパワーポイント資料で、テーマの概要を見てみる。その後、(B) 付属解説文で全体の解説を詳しく読み進めてもよいし、とくに関心をもったページから読んでみてもよい。

一般の外国人向け読解教材が「読む練習のために読む」ものが多いのに対して、本教材は「生活に必要な情報を読み取る」教材として利用できる。「リーディングチュウ太」や翻訳サイトを利用すれば、自習も可能である。さらに記載内容について確認したいと思えば、ホームページ上で検索をしたり、電話で問い合わせたりして、さらに学習者自身に必要な情報を獲得することもできる。

・「スライドを見ながら解説を理解する」「情報を検索する」など、日常生活の「読む」活動に類似した展開ができるようになっている。

ボランティアと共に学習する場合には、「教育費の準備について」「確定申告について」などを話題として「生活の話」をすることもできるであろう。

(B) 付属解説文には、覚えておきたい単語の一覧を掲載しており、読む活動の中で有効に利用可能で可能である。外国人住民が、ただ講義を聞くだけの座学とならないよう、一部テーマではワークシートも添付する等、参加型講座となるような工夫をこらした。

●教材B 「実例集」の活用の仕方は下記の通りである。

・本教材は、各テーマとも、「支援者が見るページ」「学習者と一緒に見るページ」「学習者のページ」で構成されている。各テーマ、2時間程度で実施できるように作られているが、学習者のレベルにより、調性可能である。

たとえば「ファストフード店で注文できる」では、実際にファストフード店に行って、注文できること、一連の行動を振り返って話すことが授業(活動)の目的となる。

まず、「支援者が見るページ」で、授業の流れや「使用教材」を確認する。次に、「学習者と一緒に見るページ」を参考に、必要な語彙や表現を学ぶ。絵教材も用意されているので、そのままプリントアウトして使うことができる。その後、学習者と支援者が共に外出し、ファストフード店で実際に注文をしてみることもとなる。さらに、教室に戻り、「味はどうだったか」「自分達は何をしたか」を話し、そこで簡単に「動詞や形容詞の過去形を学ぶこととなる。最後に、ひらがなやカタカナを使って、短い振り返り作文をする。

●教材C 「小さいけれど大切な日本の習慣」は、翻訳を付しており、導入期の学習者であれば、「読解教材」というより、「おしゃべりのたね」として使うことが望ましい。翻訳が読めなくとも、写真やイラストをもとに「挨拶」について自身の日頃の行動を話したり、日頃からの疑問をなげかけてみたりすることが可能であろう。ある程度、日本語を読むことに慣れてきた学習者であれば、授業の合間にちょっと読んでみてもよいし、「読解」の後に、日本人に対するインタビュー活動などに展開していくことも可能である。

(7) 成果物のリンク先

当会ホームページの「教材バンク」にて、平成28年4月中に公開予定。

※教材バンクのURL: <http://support21.or.jp/ouractivities/learning-program/japanese-learning-materials/>



8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

本事業の目的は、日本に定住する覚悟を決めた外国人住民(とくに難民)が「安心」「安全」を確保し、さらに個々の「安定」「成長」を目ざして日々過ごせるようになること、より多くの日本人住民・先輩外国人住民が、彼らの良き「伴走者」として成長すること、結果として、関わる全ての者たちが多文化共生社会日本の一員として共に手を携え前進していけることである。

平成27年度は、運営委員に先輩外国人住民(難民)を加え、各取り組みでも当事者の視点をより多く反映させられる工夫をこらす。先輩外国人住民が、本事業を通じて、難民コミュニティのキーパーソンとして成長してくれることも目的の一つである。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

「日本語教育」「人材育成」の取り組みについては、参加者からのアンケート結果、運営委員での振り返りをもとに検証する。「教材作成」については、試用段階に至っていないため、複数名の外国人住民、および日本人ボランティアからのコメントをもとに検証する。

当法人が平成23年度以来、文化庁委託事業として継続してきたそれぞれの取り組みは、年を重ねるごとに内容が充実してきており、事業の目的・目標は十分に達成されていると判断する。平成27年度は、これまでの取り組みを成果物として形に残すことに注力した。

■日本語教育については、「体験型初級日本語講座」の内容が充実してきたことから、その成果を「実例集」としてまとめるに至った。一つのモデルを提示し、共有を図ることで、今後さらに良い活動が展開していくものと期待される。これは同時に、活動に悩む地域の日本語支援者に対して活動のヒントを提供できるものであり、その意義も大きい。

また、生活力向上のための参加型講座も、講座用パワーポイント資料に付属解説文を付して教材としてまとめることができた。専門家と日本語教育の専門家、外国人支援団体スタッフの協働から生まれた成果物は、「定住する」外国人住民にとって、貴重な教材である。

■人材育成についても、一般の「ボランティア向け講座」と一線を画した内容で継続している。地域での日本語支援の取り組みに有益な講座として常に参加者から高い評価を得ている。ここ数年は、複数の参加者から「次回も参加したい」という声をいただいている。所属団体や地域で研修を受ける機会に恵まれない日本語支援ボランティアにとって期待の大きい講座となっている。また、「理解を深める講座」は通常の当法人の活動とも重なり、現場からの発信を大切にして進められており、様々な分野の方々をつなぐ機会ともなっている。

■教材作成については、3か年の計画の第1年目として、3種類の教材の作成を開始した。どの教材も「やさしい日本語」と「生活」をベースにしている。今後のさらなる充実が期待できる。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

当法人が支援する難民、中国帰国者等の在留期間はより長期化している。「定住する」外国人住民に対する日本語支援を考える際に、「標準的なカリキュラム案」の掲げる目的や目標は常に取り組みの指針となっている。

最近の傾向として、日本語学習者が、より「人と付き合う」ことや「余暇を楽しむ」ことを考え始めていることを実感する。そのような外国人住民のニーズや希望に柔軟に対応しながら、日本語教育、人材養成を行い、現場で使える教材を作成していきたい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・平成27年度は主に「日本語教育・ワークショップ」の実施で、新たな団体との連携が図られた。公的な団体との連携はもちろんであるが、「ワーカーズコレクティブ 生活クラブFPの会」「NPO法人プラス・アーツ」のような専門家集団と連携できたことは有意義であった。その専門性もさることながら、非常にわかりやすい資料を作成しておられ、かつ、人前での講義になれていらっしゃることから、外国人住民にとっても説得力のある講座となった。また、そうした専門家の方々から外国人住民の方々のニーズや要求、お困りごとを知っていただけたことも意義深い。

また、「人材養成」を通じて、様々な地域で活動する日本語支援ボランティアや外国人住民の支援に関わる方々が顔を合わせ、学びを通じてつながりをもっていける意義も大きい。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・参加者の周知・広報は、当法人のホームページからの発信を中心に行い、関連するメーリングリスト等への投稿を中心に行った。ここ数年の経験から、ホームページへの投稿よりは、メーリングリストへの投稿の方が有効だと思われる。

また、過去の講座受講者にも電子メールで呼びかけをするように努めている。

事業成果については、当法人のニューズレターで発信する(平成28年4月発行予定)が、できれば、ワークショップに関わってくださった専門家の方々にそのご経験をご報告いただく機会を設けたいと考えている。

(6) 改善点、今後の課題について

・平成27年度の事業で見えてきた課題は平成26年度に通じるものである。「頼りになる先輩住民」が増えているが、所属する地域やコミュニティを超えて外国人住民がつながることはまだ難しい。文化庁事業を受託した団体が、その「つなぎ」役を果たせるのではないだろうか。

また、今年度は日頃の活動を通じて信頼関係を築いてきた人や機関に大いに助けられ、有意義な取り組みを展開することができた。日頃の顔の見える関係づくりを大切にしていきたい。

(7) その他参考資料

- 1 案内のチラシ(日本語教室・ワークショップ・スキルアップ講座・理解を深める講座)
- 2 アンケート(日本語教室最終分・ワークショップ・スキルアップ講座最終回分・理解を深める講座)
- 3 修了文集(日本語教室)
- 4 ニュースレター(平成28年4月発行予定の該当ページを添付)